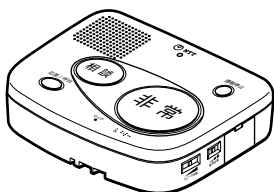




SL-7号通報装置

取扱説明書



技術基準適合認証品
SL7-ツウホウソウチ

このたびは、SL-7号通報装置をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを利用する

SL-6号電話機(オプション)を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付録




安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.


本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

不要となった乾電池は、市町村の条例に基づいて廃棄してください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

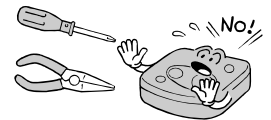
 **警告**

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または内部に異物や水などが入った場合は、電源コードをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所に依頼してください。



乾電池を使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。乾電池の液もれ、発熱、破裂させる原因となることがあります。

- ・火の中に投入したり、加熱しない。
- ・直接はんだ付けしない。

乾電池を分解、改造しないでください。乾電池の発熱、破裂の原因となることがあります。

乾電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コード等が破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電話機コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。



電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源をコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

ぬれた手で電源コードと電話機コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



ぬれた手で本商品进行操作しないでください。感電の原因となります。



ぬれた手で電話機进行操作したり、ぬれた手で乾電池を交換しないでください。感電の原因となります。

⚠ 警告

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを点検してください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

乾電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

乾電池を水や海水につけたりぬらさないでください。乾電池を発熱させたり、さびの原因となることがあります。

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

直射日光の当たるところや暖房設備、ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



本商品底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

本商品は、一般電話回線または構内交換機の内線用です。デジタル回線に接続することはできません。また、緊急通報が正常に行われない場合がありますので、ターミナルアダプタ等のアナログポートや他の通信装置（FAX等）を経由して接続しないでください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使用のとき

注意

本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。

電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

本商品と電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

本商品に乗らないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

乾電池を通報装置に取り付ける場合は、機器の表示通り正しく入れてください。まちがえると乾電池の破裂・液もれにより、けがをしたり周囲を汚損する原因となることがあります。

停電が発生したときやコンセントを抜いたときは、必ず新品の乾電池と交換してください。

お願い

本装置に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。

万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

取り扱いについて

STOP お願い

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



置き場所について

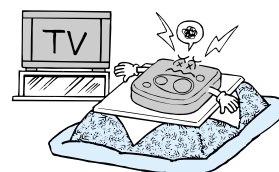
こんな場合は、電話が繋がらなかったり、雑音が入ることがあります。

STOP お願い

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。



硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなる場合があります。

目次

	安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
	この取扱説明書の見かた	10
お使いになる 前に	特長	12
	セットを確認してください	14
	各部の名前とはたらき	15
	壁掛けにして使うには	17
	S L - 7 号通報装置を壁に取り付ける	17
	停電になったときのために	18
	乾電池をセットする	18
基本的な使い かた	緊急通報するには	20
	相談電話をかけるには	21
	声や呼び出し音を調節するには	22
	相手の方の声の音量を調節する	22
	呼び出し音の音量を調節する	22
	呼び出し音が鳴ったときは	23
	接続している電話機などを呼び出すには	24
お手持ちの電話機を接続して利用するには	25	
便利な機能	便利な機能のご紹介	28
	電池切れ通報機能	28
	緊急通報優先機能	28
	着信自動応答機能	28
	テレコントロール機能	29
	定時通報機能を利用する	30
オプションを 利用する	オプションのご紹介	32
	オプションを接続して使うには	34
	ワイヤレスリモートスイッチ	34
	ハンドフリーボックス	35
	S L - 6 号電話機	38
	サブコールドアホン	41
	各種センサ	42
SL-6号電話機 (オプション)を 活用する	S L - 6 号電話機でできること	44
	セットの確認	45
	各部の名前とはたらき	46
	日時を合わせるには	49
	声や呼び出し音を調節するには	50
	ハンドセットから聞こえる声の音量を調節する	50
	声の高音部分を聞き取りやすくする	50
	呼び出し音の音量を調節する	50
スピーカから聞こえる声の音量を調節する	50	

つづく

つづき
SL-6号電話機
(オプション)を
活用する

電話をかけるには / 受けるには	51
電話をかける	51
呼び出し音が鳴ったときに電話に出る	51
電話番号を確認してかける	52
ハンドセットを置いたまま電話をかける	53
ハンドセットを置いたまま電話を受ける	54
電話をかけ直すには (再ダイヤル)	55
ワンタッチボタンで電話をかけるには	56
短縮番号で電話をかけるには	57
内線電話をかけるには	58
信号呼び出しでかける	58
スピーカ呼び出しでかける	58
より便利に使う	59
キャッチホンを受ける	59
ダイヤル回線からプッシュ信号を送る	60
アラームを利用する	60
S L - 6 号電話機の各種登録・設定	61
ワンタッチボタンに電話番号を登録する	61
短縮番号を登録する	62
内線番号を登録する	64
アラームをセットする	66

こんなときには

停電になったときは	70
停電になったとき	70
停電中は	70
停電が終わったとき	71
故障かな?と思ったら	72
SL-7号通報装置・SL-6号電話機(オプション)のトラブル	72
SL-6号電話機(オプション)のトラブル	72

設定と接続方
法

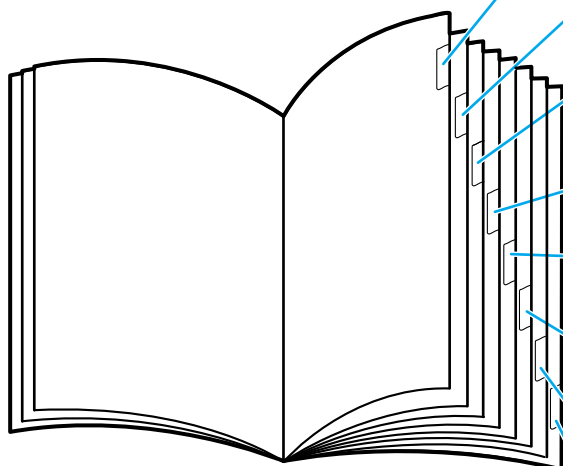
設定方法について	74
方法 S L - 6 号電話機 (オプション) で登録・設定をする	75
設定スイッチで設定を確認・変更する	75
登録・設定操作の流れ	76
通報先や通報のしかたを登録する	77
通報機能をテストする	81
方法 S L - 7 号通報装置で登録・設定をする	82
日時を設定する	82
登録・設定操作の流れ	83
通報機能をテストする	85
システムデータ設定一覧	86
配線のしかた	94

付録

索引	96
仕様	98
保守サービスのご案内	99

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



お使いになる前に

お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

基本的な使いかた

日常、よくご利用になる機能を説明しています。

便利な機能

知っておいていただきたい便利な機能をご紹介します。

オプションを利用する

オプションの機能を説明しています。

SL-6号電話機(オプション)を活用する

SL-6号電話機をより便利にお使いいただくための機能を説明しています。

こんなときには

故障かな?と思ったときの確認方法などを説明しています。

設定と接続方法

設定と接続方法をまとめて説明しています。

付録

索引などをまとめています。

操作ページの構成

タイトル

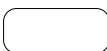
操作目的ごとに、タイトルが付けられています。

操作手順説明

操作内容を示すイラストや、操作で使う電話機のボタン、ディスプレイに表示される内容などを示しています。

参考

本商品をご利用いただく上での注意点を示しています。

 はボタンなどを示しています。

参照

参照項目やページを記述しています。

より便利に使う

ダイヤル回線からブッシュ信号を送る

SL-7号通報装置をダイヤル回線に接続してお使いの場合でも、SL-6号電話機でブッシュホンサービスを利用することができます。

1 電話をかけ、つながったら回を押します。

ブッシュ信号に切り替わります。

2 送りたい番号のダイヤルボタンを押します。

押した番号がブッシュ信号で送られます。

利用できるブッシュホンサービスの種類は、クレジット電話サービス、銀行ANGERサービス、留守番電話へのリモコン操作、ポケットホンサービスなどがあります。

電話を切ると、ダイヤル番号に戻ります。

アラームを利用する

毎日同じ時刻にSL-6号電話機からアラーム音を鳴らすことができます。アラームは一度セットすると、解除するまで毎日鳴るので、目覚ましのかわりなどにお使いになれます。

アラームは約1分後に止まりますが、止めたいときは「通報停止」を押します。

アラームをセットするには(→P66)
アラームを解除するには(→P67)

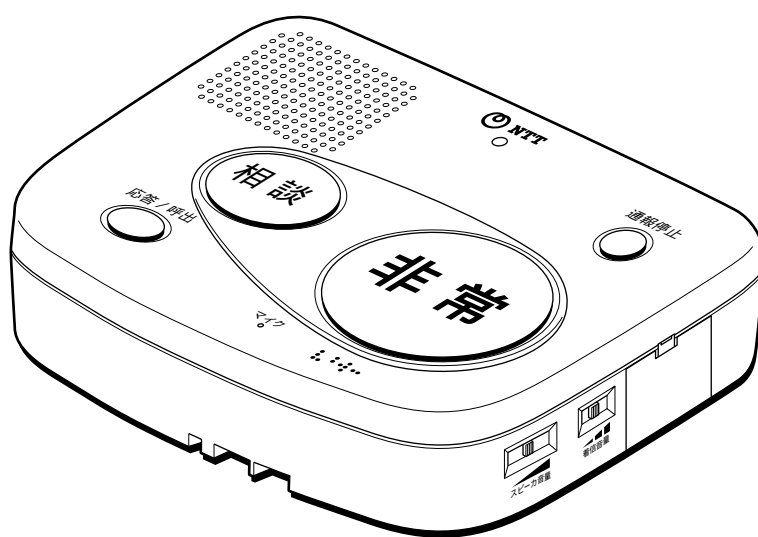
60

ワンポイント

困ったときのヒントや、知っておくと便利な情報をまとめています。

お使いになる前に

ここでは、SL-7号通報装置をお使いになる前に
知っておいていただきたいことをまとめています。



特長	12
セットを確認してください	14
各部の名前とはたらき	15
壁掛けにして使うには	17
停電になったときのために	18

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL-6号電話機(オ
プション)を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

特長

SL-7号通報装置は、簡単な操作で緊急通報や相談電話がかけられる緊急通報用電話機です。一人暮らしの方やお体の不自由な方に、いざというときの安心をお届けします。

参考

SL-7号通報装置は110番、119番などに通報を行う装置ではありません。

緊急通報 (☞P20)

非常 を押すだけで、緊急連絡先に電話がつながります。



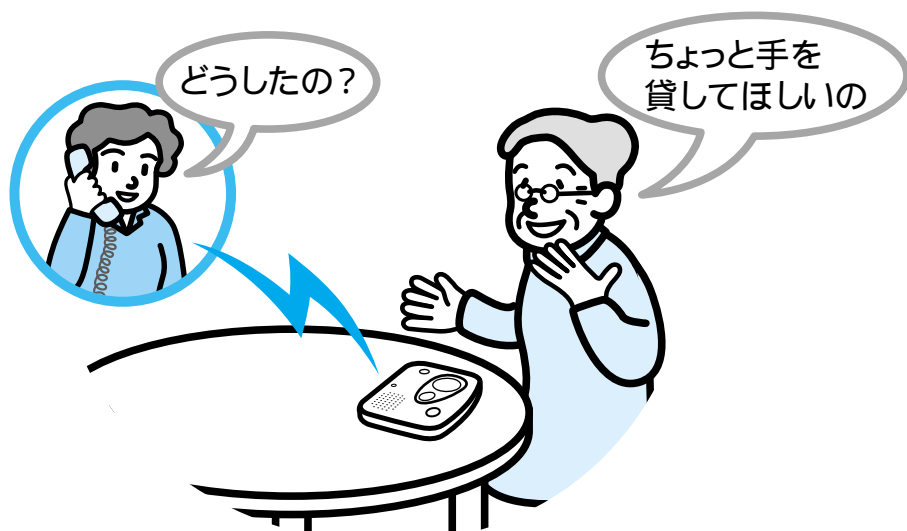
相談電話 (☞P21)

相談 を押すだけで、登録してある相談先に電話がかけられます。



内線呼び出し (☎P24)

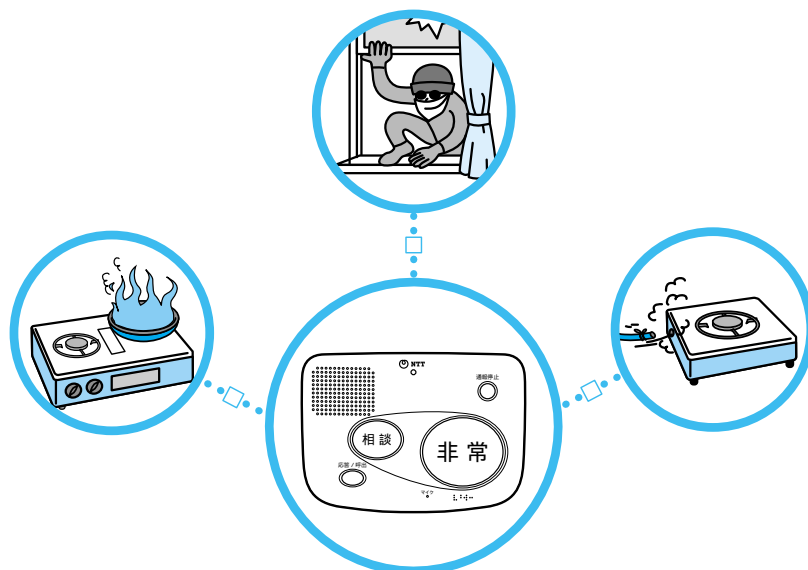
オプションのSL-6号電話機などを接続すると、内線呼び出しができます。



安心機能 (☎P32)

市販の防犯・防災センサなどを接続すると、火事やガスもれ、空き巣など、万が一のときに、登録してある連絡先に通報されます。

また、みなさまのトイレの使用の有無から、連絡先に通報する機能もご利用いただけます。

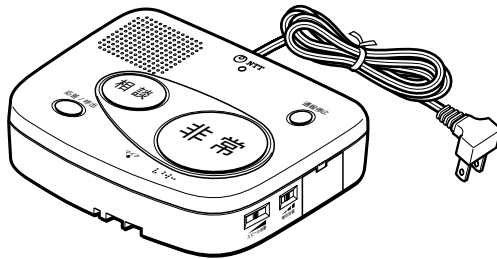


SL-7号通報装置で使用できるセンサの詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

セットを確認してください

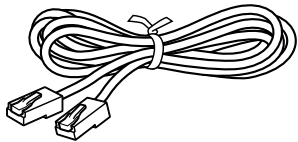
次のものがそろっているか、お確かめください。

本体（一式）

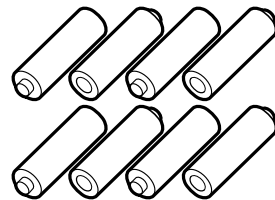


SL-7号通報装置本体

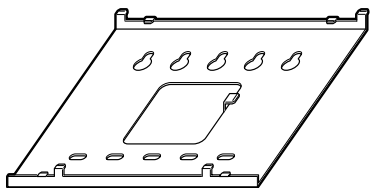
付属品



電話機コード
(1本)



アルカリ乾電池（単3）
(8本)



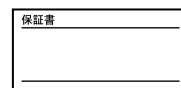
壁掛け金具



木ネジ4本 メートルネジ4本
(JISボックス用)
ネジ（8本）



取扱説明書
(1部)



保証書
(1枚)

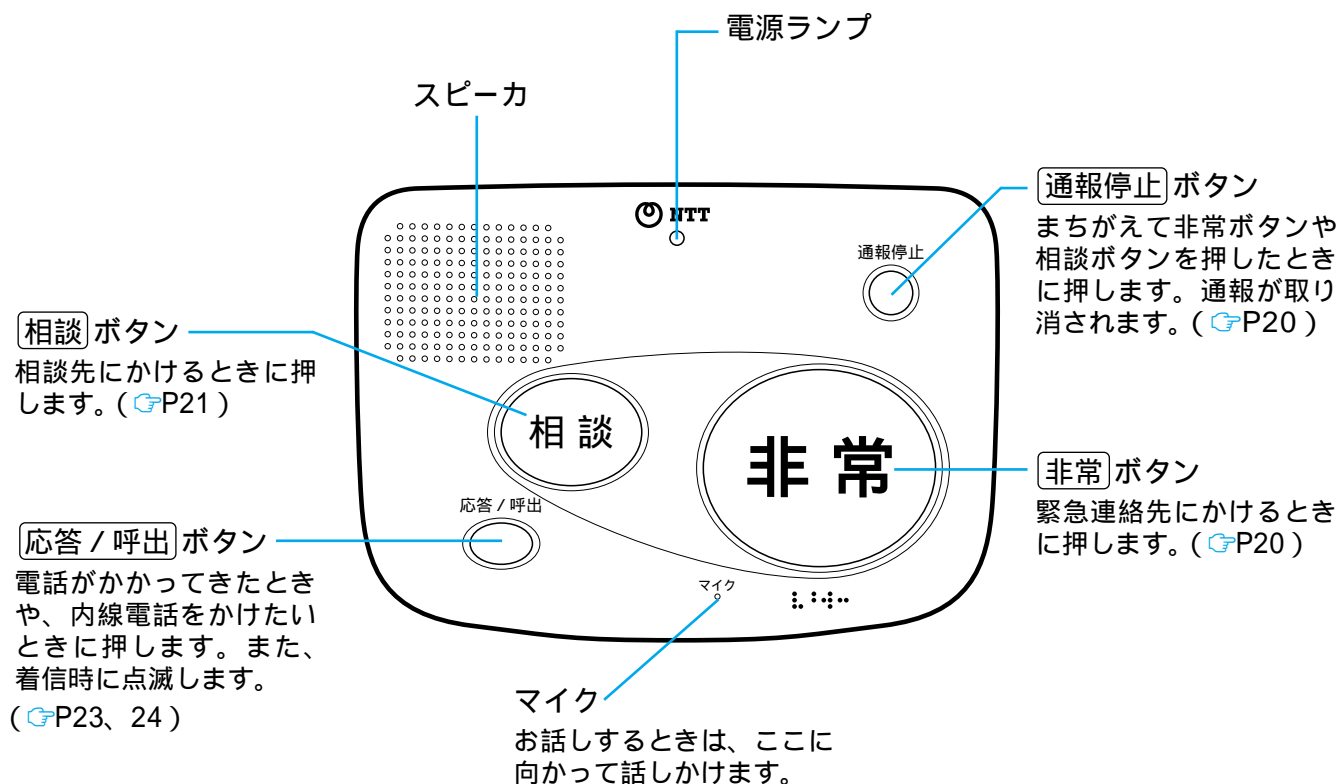
セットに足りないものがあつたり、取扱説明書に乱丁、落丁があつた場合などお気付きの点がありましたら、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

各部の名前とはたらき

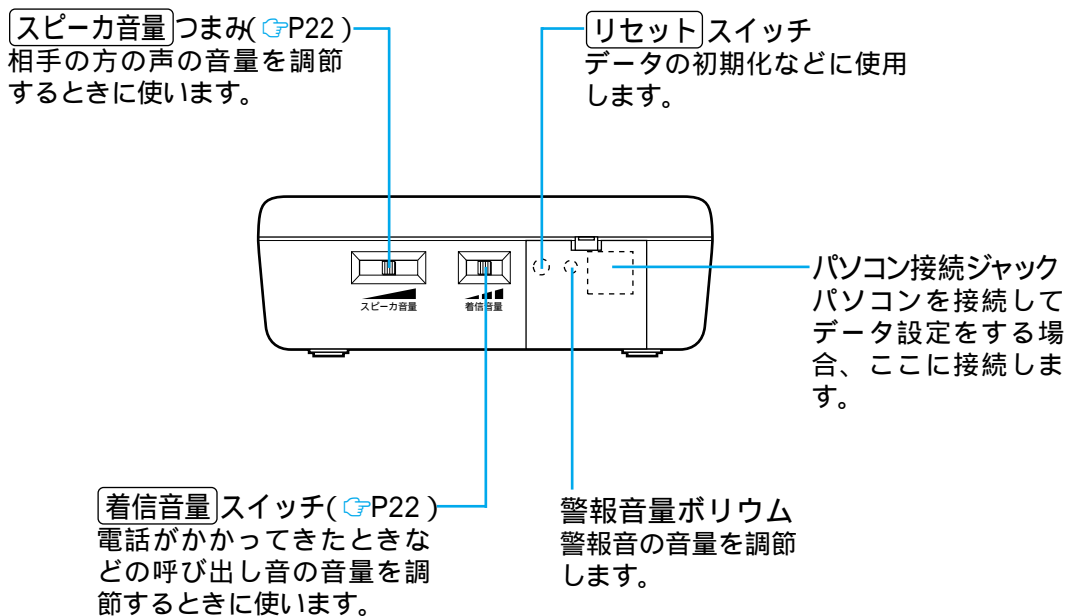
お使いになる前に

各部の名前とはたらき

前面



右側面



参考

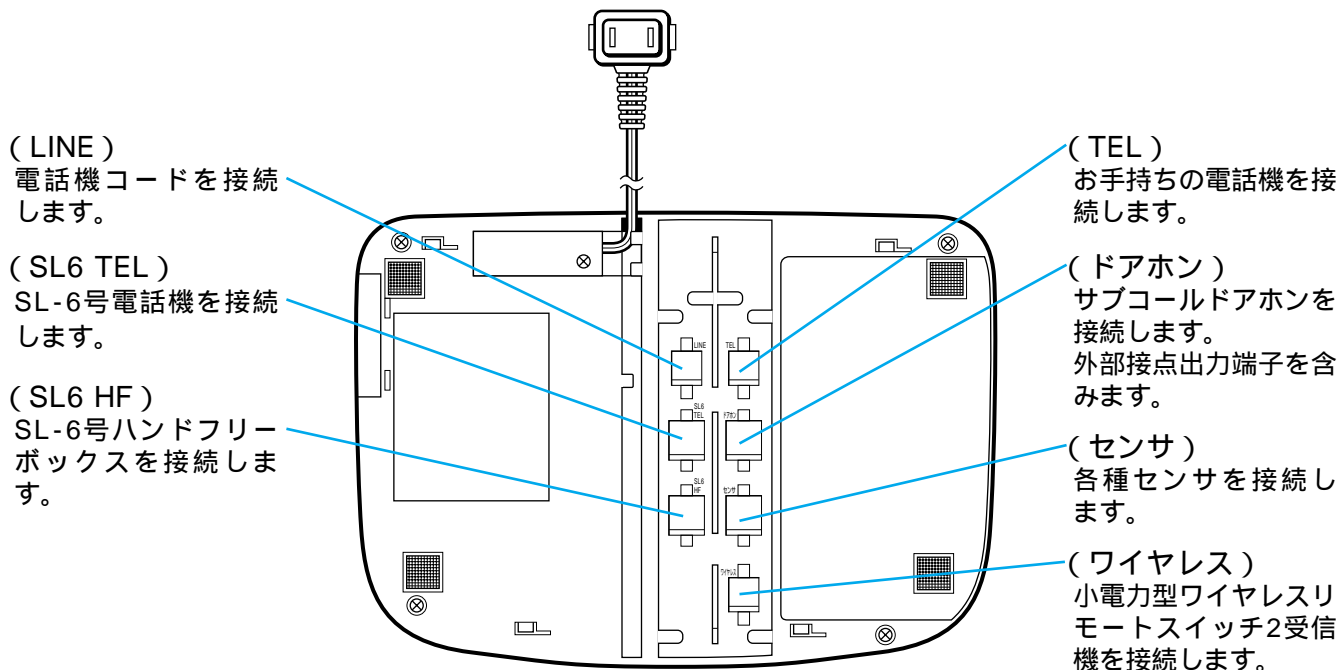
非常 ボタン・相談 ボタンは、常夜灯として弱い光で常時点灯することができます。詳細は当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

各部の名前とはたらき

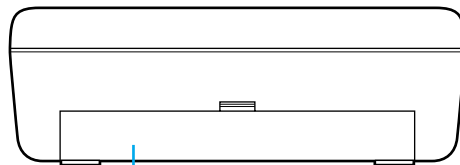
お使いになる前に

各部の名前とはたらき

底面



左側面



電池カバー
電池交換のときに取り外します。

壁掛けにして使うには

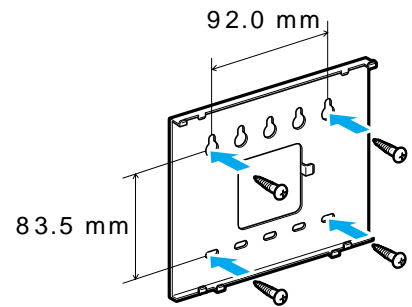
SL-7号通報装置を壁掛けにして使用することができます。付属品の壁掛け金具で壁掛け用ネジ4本を使って壁や柱などに取りつけてご使用ください。

お使いになる前に

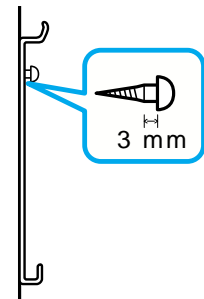
壁掛けにして使うには

SL-7号通報装置を壁に取り付ける

- ① 4つのネジの取り付け位置（左右幅92.0 mm、上下幅83.5 mm）を決めます。



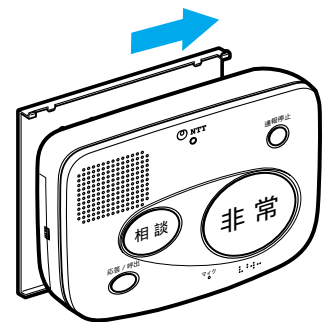
- ② 最初に上の2つのネジを壁に取り付けます。
このときネジの頭を壁より約3 mm程度出した状態にしてください。



- ③ 壁掛け金具の上のひょうたん穴を壁に取り付けたネジにひっかけます。

- ④ 壁掛け金具の下の穴に残りの2本のネジを取り付け、上のネジの頭をねじ込み、壁掛け金具を固定します。

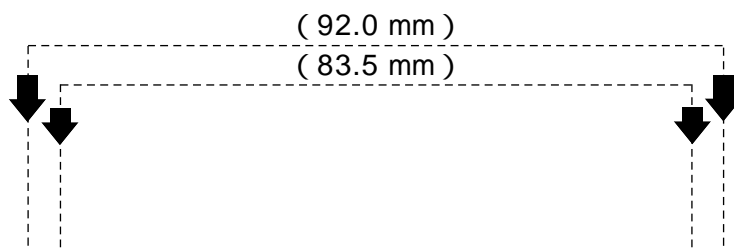
- ⑤ 壁掛け金具のピンとSL-7号通報装置裏の溝を結合させます。SL-7号通報装置を右にスライドさせながら金具にはめ込みます。



参考

直接壁や柱に取り付ける場合は、木ネジをご使用ください。
JISボックスに取り付ける際は、メートルネジをご使用ください。
JISボックスの大きさにあわせてネジ取り付け位置を調整してください。

壁掛け金具を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください。



停電になったときのために

お使いになる前に

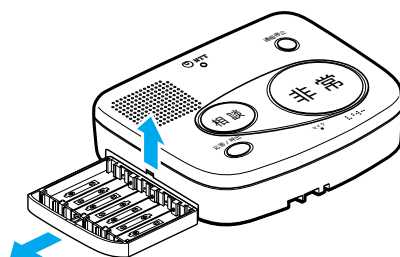
停電になったときのために

停電になったときでも緊急通報や相談電話ができるようにするためには、単3アルカリ乾電池（8本）をセットします。

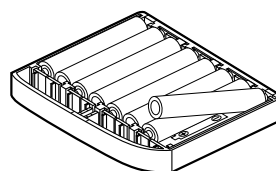
停電中は乾電池が急激に消耗します。停電後には新しい乾電池に交換してください。取り替え用の単3アルカリ乾電池は、お客さままでご用意いたします。

乾電池をセットする

① 電池カバーのツメを押し上げながら開けます。

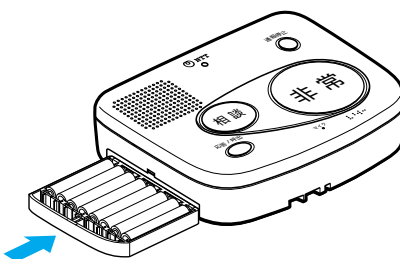


② 乾電池を入れます。



付属品、または市販の単3アルカリ乾電池（8本）を入れます。乾電池の（+）・（-）の向きを確かめて正しく入れてください。

③ 電池カバーを取り付けます。



ワンポイント

停電時の使用可能時間は👉

新品のアルカリ乾電池の場合、停電開始から約20時間以内であれば1回以上の緊急通報が可能です。ただし、オプション機器の接続の有無や、停電通報の状況、および通報装置やオプション品の使用状態などによって、使用可能時間が短くなる場合があります。

電池切れ通報（👉P28）を設定していると👉

乾電池の残量が少なくなると、連絡先に自動的に通報します。

乾電池を入れないでご使用の場合は、約1時間後に電池切れ通報します。

基本的な使いかた

ここでは、SL-7号通報装置の、
基本的な機能を説明します。



緊急通報するには	20
相談電話をかけるには	21
声や呼び出し音を調節するには	22
呼び出し音が鳴ったときは	23
接続している電話機などを呼び出すには	24
お手持ちの電話機を接続して利用するには	25

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL-6号電話機(オ
プション)を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

緊急通報するには

からだの調子が悪いときなどに、登録してある緊急連絡先に通報できます。

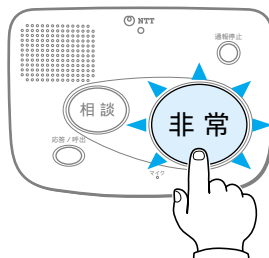
基本的な使いかた

緊急通報するには

1

非常 を押します。

「ピーポーピーポー緊急通報」という警報音が鳴り、緊急連絡先に電話がつながります。





2

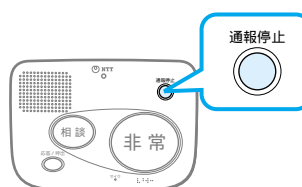
マイクに向かってお話しします。



ワンポイント

まちがえて押したときは  **通報停止** を押します。通報や呼び出しが停止されます。他のオプション機器の **通報停止** を押しても通報を停止します。

相手の方の声が聞こえにくいときは ( P22)



相談電話をかけるには

ちょっと困ったときなどに、登録してある相談先にボタン1つで電話がかけられます。

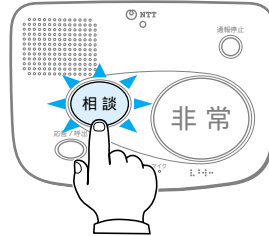
基本的な使いかた

相談電話をかけるには

1

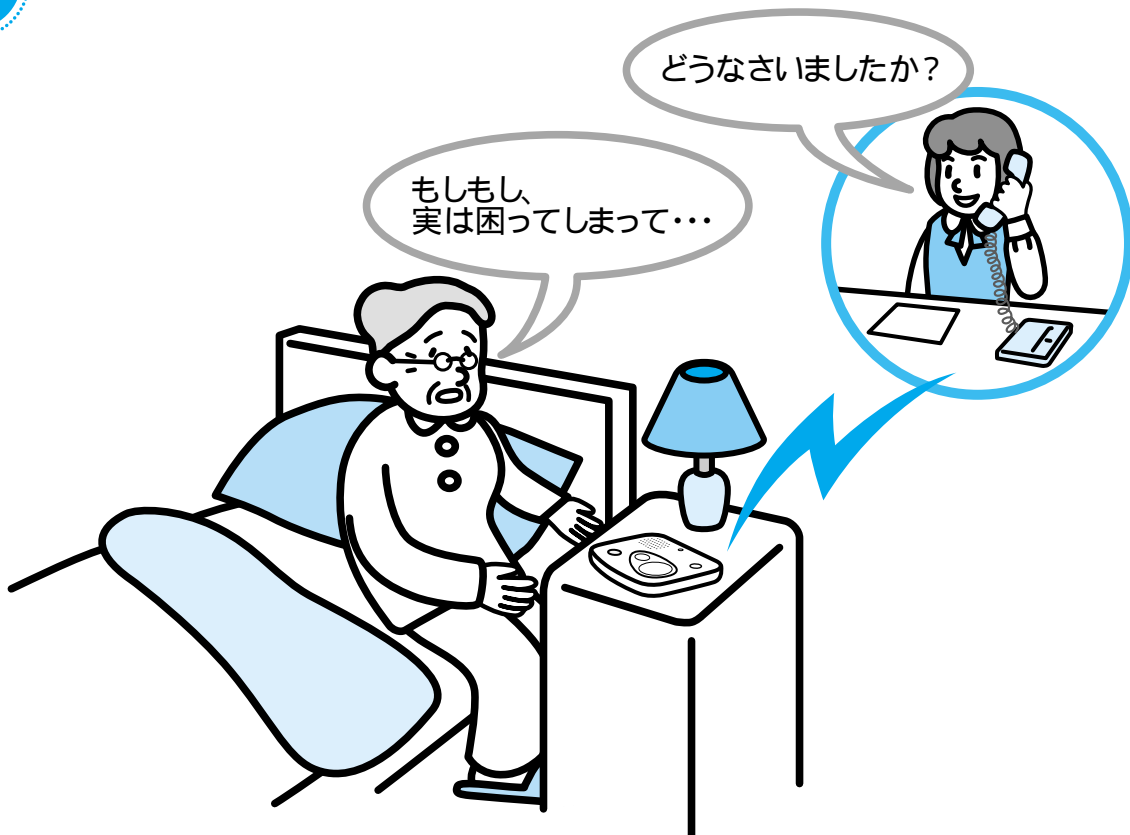
相談を押します。

相談先に電話がつながります。



2

マイクに向かってお話しします。



ワン
ポイント

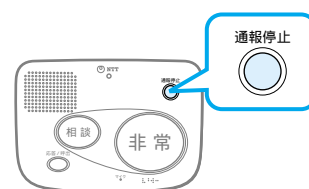
まちがえて押したときは

通報停止を押します。

通報や呼び出しが停止されます。

他のオプション機器の**通報停止**を押しても通報を停止します。

相手の方の声が聞こえにくいときは (P22)

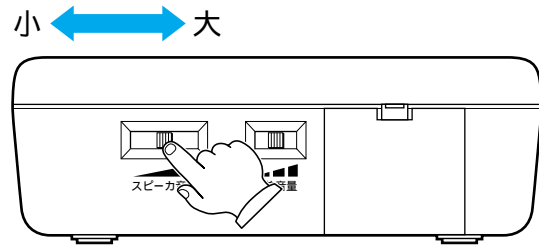


声や呼び出し音を調節するには

相手の方の声の音量を調節する

相手の方の声が聞き取りにくいときには、スピーカ音量を調節します。

スピーカ音量 つまみを動かします。



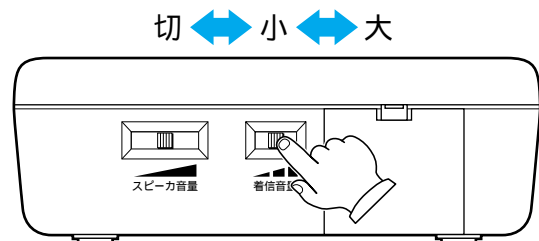
基本的な使いかた

声や呼び出し音を調節するには

呼び出し音の音量を調節する

電話やサブコールドアホンなどの呼び出し音の大きさは、着信音量スイッチで調節します。「大」「小」または「切」に切り替えられます。

着信音量 スイッチを切り替えます。



ワンポイント

「切」に切り替えると☞

呼び出し音が鳴らなくなります。呼び出されたときには **応答 / 呼出** ランプの点滅だけでお知らせします。

呼び出し音が鳴ったときは

電話がかかってきたときや、サブコールドアホンのベルが押されたときには呼び出し音が鳴り、**応答/呼出**が点滅します。

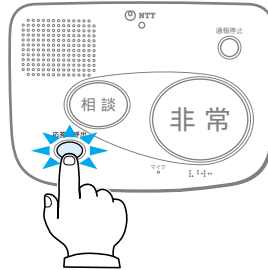
応答/呼出を1つ押すだけでお話しできます。

基本的な使いかた

呼び出し音が鳴ったときは

- 1 ランプが点滅している間に、**応答/呼出**を押します。

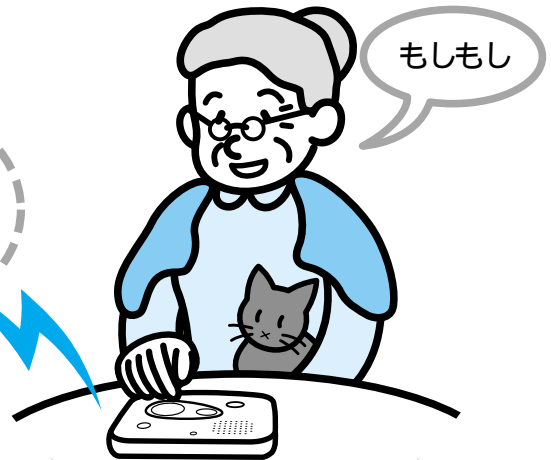
相手の方とつながります。



- 2 マイクに向かってお話しします。

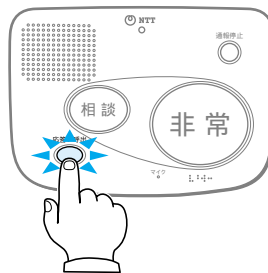
××ですが、
お変わり
ありませんか？

もしもし



- 3 お話しがおわったら、もう一度**応答/呼出**を押します。

通話が切れます。



ワン
ポイント

相手の方の声が聞こえにくいときは (👉P22)

呼び出し音の鳴り方は👉

外からかかってきたときや、接続している電話機からかかってきたときは「プルルル...プルルル...」と鳴ります。

サブコールドアホンのベルが押されたときには「ピンポーン」と鳴ります。

接続している電話機などを呼び出すには

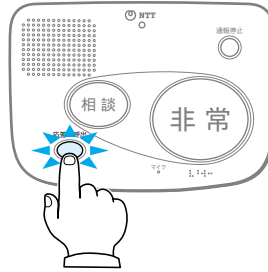
オプションのSL-6号電話機やハンドフリーボックスなどを接続してご利用になっている場合には、ボタンを1つ押すだけで、これらを一齐に呼び出すことができます。

基本的な使いかた

接続している電話機などを呼び出すには

1

応答 / 呼出 を押し
ます。



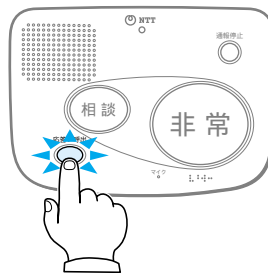
2

相手の方が出たら、
マイクに向かってお
話しします。



3

お話しがおわったら、もう一度
応答 / 呼出 を押し
ます。



通話が切れます。



相手の方の声が聞こえにくいときは (☞P22)

複数の電話機などを接続しているときは☞

接続している電話機が、一齐に呼び出されます。応答操作をした方とのみお話しできます。

お手持ちの電話機を接続して利用するには

SL-7号通報装置本体には、お手持ちの電話機が接続できます。(☞P95)
接続した電話機では、通常どおり電話をかけたり受けたりすることができます。



基本的な使いかた

お手持ちの電話機を接続して利用するには

参考

SL-6号電話機以外の電話機は、内線通話にはお使いになれません。
お手持ちの電話機の詳しい使い方については、電話機取扱説明書を参照してください。
他の通信装置（FAX等）は、本装置のTEL端子に接続してください。
緊急通報が正常に行われない場合がありますので、電話回線を他の通信装置（FAX等）
を経由して本装置に接続しないでください。
ご使用になる機器によってはご使用になれない場合もあります。
緊急通報による強制切断により、通話ができなくなる場合があります。
ナンバー・ディスプレイ付きの電話機をご使用になることができます。詳しくは、当社
サービス取扱所にご連絡ください。

メ モ

基本的な使いかた

便利な機能



便利な機能のご紹介
定時通報機能を利用する

28

30

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

S.L.6号電話機(オ
プション)を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

便利な機能のご紹介

通常は、みなさまがご自分で操作されることはありませんが、知っていただきたいSL-7号通報装置の便利な機能をご紹介します。

電池切れ通報機能（☞P88、91）

停電やコンセント抜けなどでSL-7号通報装置の乾電池の容量が一定より下がると、スピーカから「電池切れです」というメッセージが3回流れます。電池切れが近いことを、あらかじめ登録してある連絡先に通報することもできます。

参考

停電になってから電池切れ通報を行うまでの時間は、通報装置やオプション品の使用状況や、停電通報の動作状況により異なります。

緊急通報優先機能（☞P93）

SL-7号通報装置に他の電話機が接続されているときに、**非常**が押されたりセンサからの異常が検出されると、他の電話機の通話を強制的に終了し、優先的に通報を行うことができます。

参考

通報を行うために他の電話機の通話を強制的に終了するときは、通話を強制終了することを知らせるメッセージ「緊急通報のために電話を切ります」が流れます。通報中は、他の電話機は無音になり、使用できなくなります。

着信自動応答機能（☞P90）

電話がかかってきたときに自動的に応答し、そのままお話しすることができます。

着信自動応答機能を設定したときに、プライバシー保護のため、マイクをオフに設定し、相手の方の声だけを聞くこともできます。

参考

設定した時間が経過すると、自動的に通話が切れます。お話しを続ける場合は、通話中に**応答/呼出**を押してください。

テレコントロール機能

緊急連絡先の電話機から、SL-7号通報装置やハンドフリーボックスを遠隔操作（テレコントロール）することができます。遠隔操作は、緊急通報時の通話、または通報データ伝達終了後の30秒間にプッシュ信号を送ることによって行います。

① 遠隔操作内容に対応したダイヤルボタンを押します。

遠隔操作が正しく行われると、「ピッピッ」という音が聞こえます。聞こえないときは、もう一度操作を行ってください。

操作内容	ダイヤルボタン
SL-6号電話機でハンドフリー通話できるようにする	0 0 *
SL-7号通報装置でハンドフリー通話できるようにする	1 1 *
SL-6号ハンドフリーボックス1でハンドフリー通話できるようにする	1 *
SL-6号ハンドフリーボックス2でハンドフリー通話できるようにする	2 *
SL-6号ハンドフリーボックス3でハンドフリー通話できるようにする	3 *
マイクをオンにする	4 *
マイクをオフにする	5 *
ハンドフリー通話時間を延長（無限）する	6 *
接点出力1動作	7 *
接点出力2動作	7 1 *
接点出力1復旧	8 *
接点出力2復旧	8 1 *
電話を切る（他の連絡先に通報せずに、通報を完了する）	9 *

② 9 * と押します。

「ピー」という音が約1秒間聞こえ、電話が切れます。

定時通報機能を利用する

定時通報機能は、みなさまのプライバシーを守りながら、安全を確認する機能です。

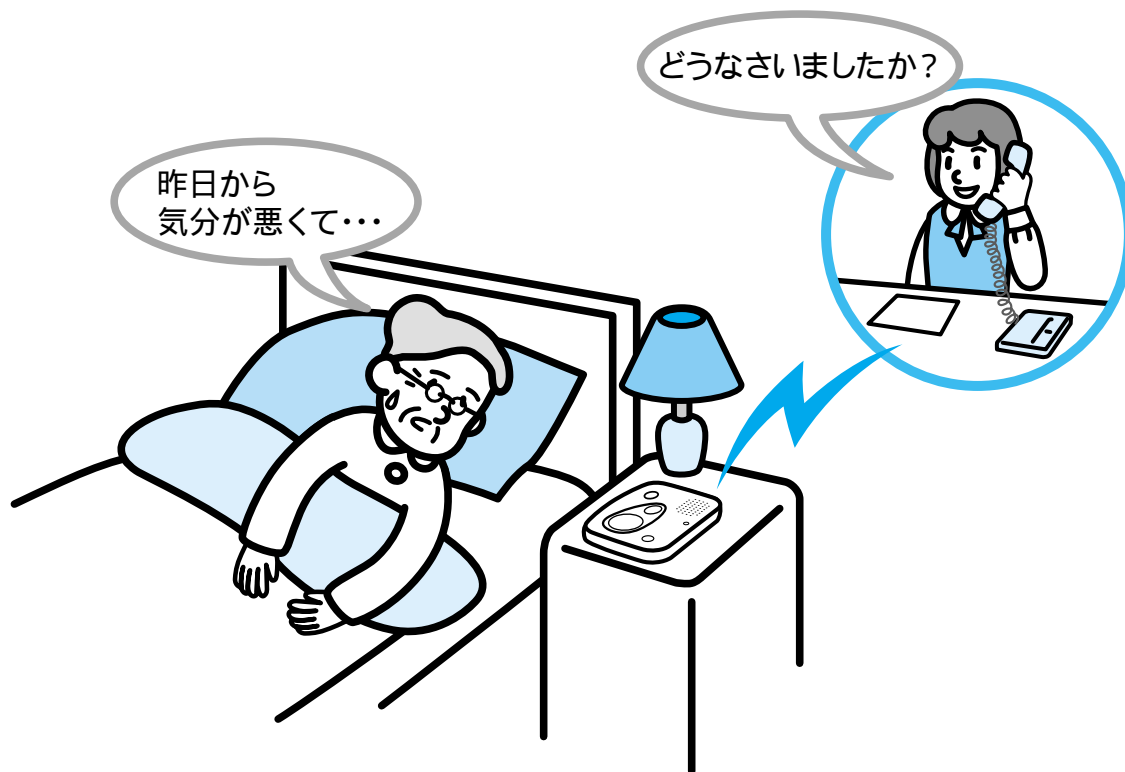
生活リズムの異常を検知するための定時通報

通報先では、ドアやトイレなどに取り付けたセンサを通じて、みなさまの生活リズムをチェックすることができます。

たとえば、毎日午前10時の定時通報を設定していた場合に、前日の午前10時から24時間の間に一度もトイレやお部屋への出入りがなかったときには、通報先で異常を察知できます。

便利な機能

定時通報機能を利用する



装置の異常を検知するための定時通報

ご使用の通報装置や電話回線に異常がないときには、設定時刻になると自動的に通報先への定時通報が行われます。

たとえば、毎日午後2時の定時通報を設定していた場合、その時刻に定時通報が行われなかったときには、通報装置や電話回線に異常が発生したことがわかります。

オプションを利用する



オプションのご紹介

32

オプションを接続して使うには

34

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを利用する

SLIG号電話機(オプション)を活用する





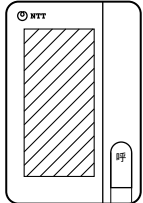
こんなときには

設定と接続方法

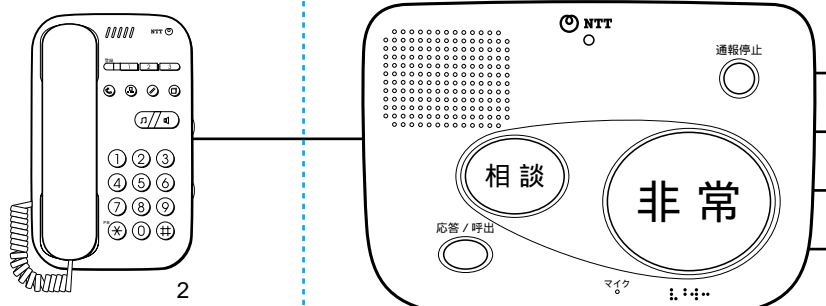
付録

オプションのご紹介

SL-7号通報装置には、より便利にお使いいただくための各種オプションが用意されています。

<p>小電力型ワイヤレスリモートスイッチ2</p>  <p>ペンダント型送信機</p> <p>受信機</p>	<p>SL-6号ハンドフリーボックス</p> 	<p>リモートスイッチS</p> 	<p>SL-6号電話機</p> 	<p>SL-5号サブコールドアホン</p> 
---	--	--	--	---

当社取扱品以外にも、お手持ちの電話機（最大1台）や市販のセンサ¹（火災センサ/ガスマレセンサ/生活リズムセンサなど最大4台）を接続してご利用いただけます。（P30、42）



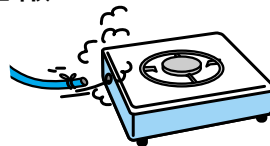
緊急事態発生!



どうなさいましたか?



通報

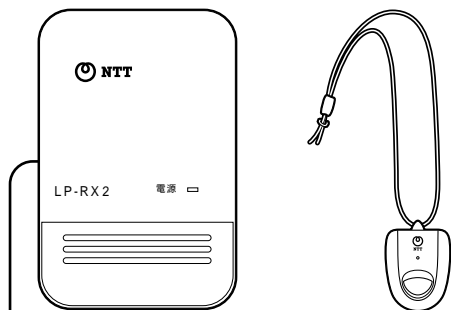


オプションを利用する

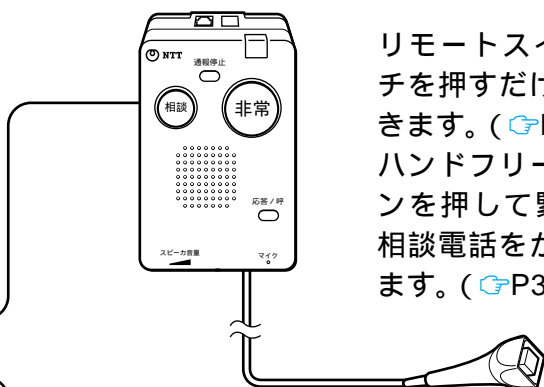
オプションのご紹介

1 SL-7号通報装置で使用できるセンサの詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

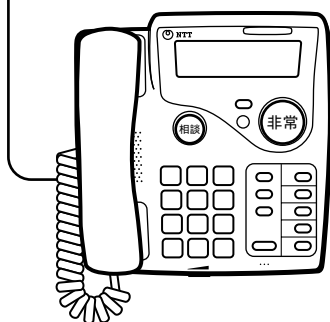
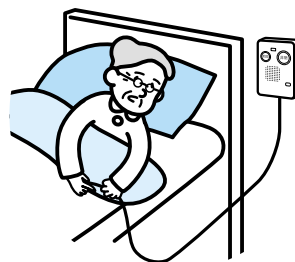
2 ご使用になる機器によってはご使用になれない場合もあります。緊急通報による強制切断により、通話ができなくなる場合があります。



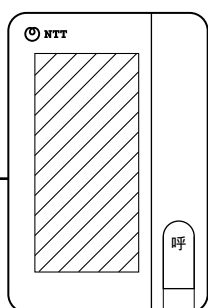
いつも身につけていられるペンダント型なので、SL-7号通報装置から少し離れたところにいるときでも安心です。(P34)



リモートスイッチSのスイッチを押すだけで、緊急通報できます。(P36)
 ハンドフリーボックスのボタンを押して緊急通報したり、相談電話をかけることもできます。(P35)



緊急通報や相談電話がかけられるほか、ふつうの電話機としても使えます。ワンタッチボタンや短縮番号を使ったダイヤルもできます。(P38、43)



サブクールドアホンを接続すると、SL-7号通報装置をインターホンとしてお使いになります。(P41)



オプションを利用する

オプションのご紹介

オプションを接続して使うには

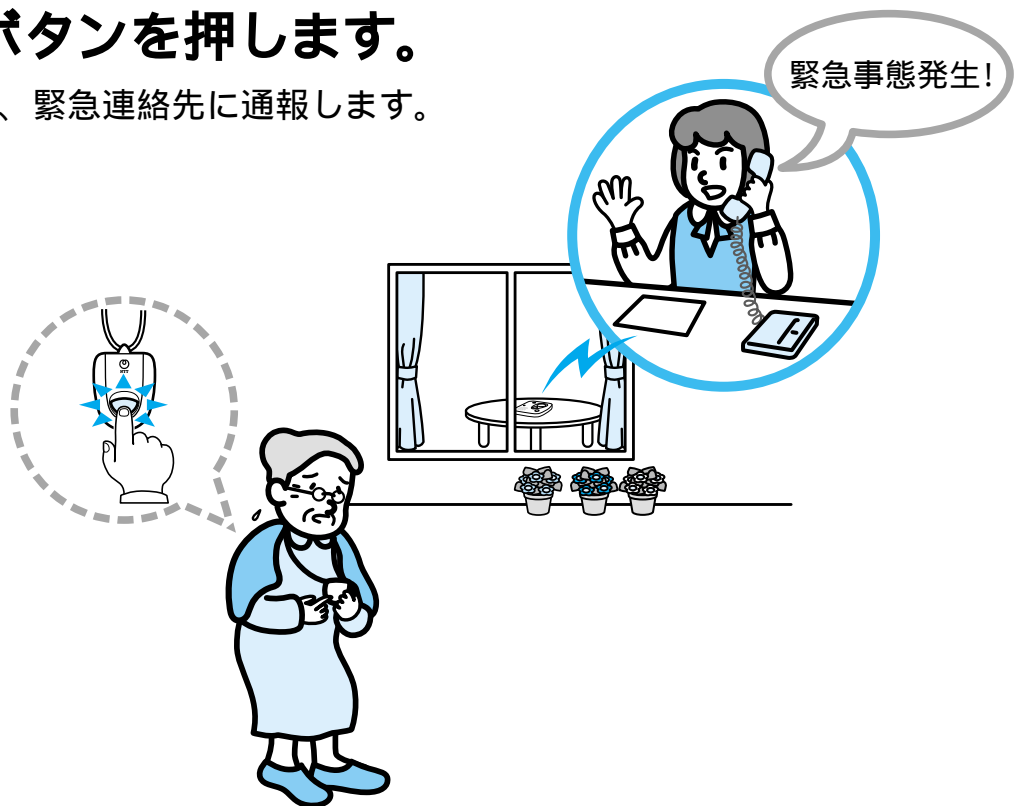
接続したオプションを使って、緊急通報したり相談電話をかけたりする方法をご紹介します。

ワイヤレスリモートスイッチ

SL-7号通報装置本体から少し離れたところや家の外にいるときなどでも、緊急連絡先に通報できます。ただし、ワイヤレスリモートスイッチでお話しすることはできません。

送信機のボタンを押します。

ランプが点滅し、緊急連絡先に通報します。

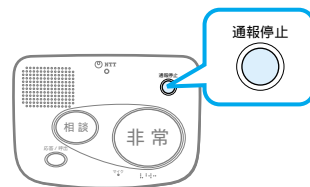


オプションを
利用する

オプションを接続して使うには

ワンポイント

まちがえて押したときは☎
通報停止を押します。
通報や呼び出しが停止されます。
他のオプション機器の**通報停止**を押しても通報を停止します。



参考

送信機をご利用になるには、受信機（☎P32）をSL-7号通報装置に接続しておく必要があります。

「小電力型ワイヤレスリモートスイッチ2」で緊急通報できる範囲（電波の届く範囲）は、受信機から見通し距離で約50 m以内です。

緊急通報できる範囲は、コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の状況によって狭くなることがあります。

電池が少なくなると送信機のボタンを押したときにランプが点滅しなくなります。電池を交換してください。

ハンズフリーボックス

SL-7号通報装置から離れた場所にいるときでも、ハンズフリーボックスから緊急通報や相談電話がかけられます。ハンズフリーボックスにリモートスイッチSを接続しているときは、お手元のスイッチを押して緊急通報することもできます。

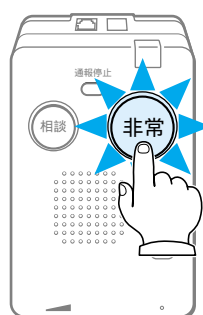
SL-7号通報装置と同じように、かかってきた電話が受けられます。

ハンズフリーボックスで緊急通報する

1

非常 を押します。

警報音が鳴り、緊急連絡先に電話がつながります。



2

マイクに向かってお話しします。



オプションを
利用する

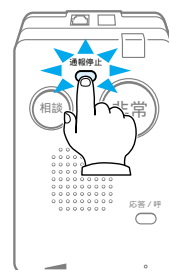
オプションを接続して使うには

ワン
ポイント

まちがえて押したときは

通報停止 を押します。通報や呼び出しが停止されます。

他のオプション機器の **通報停止** を押しても通報を停止します。



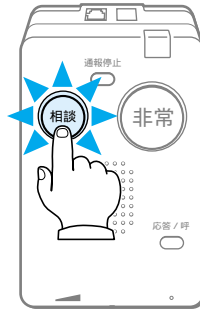
オプションを接続して使うには

ハンズフリーボックスで相談電話をかける

1

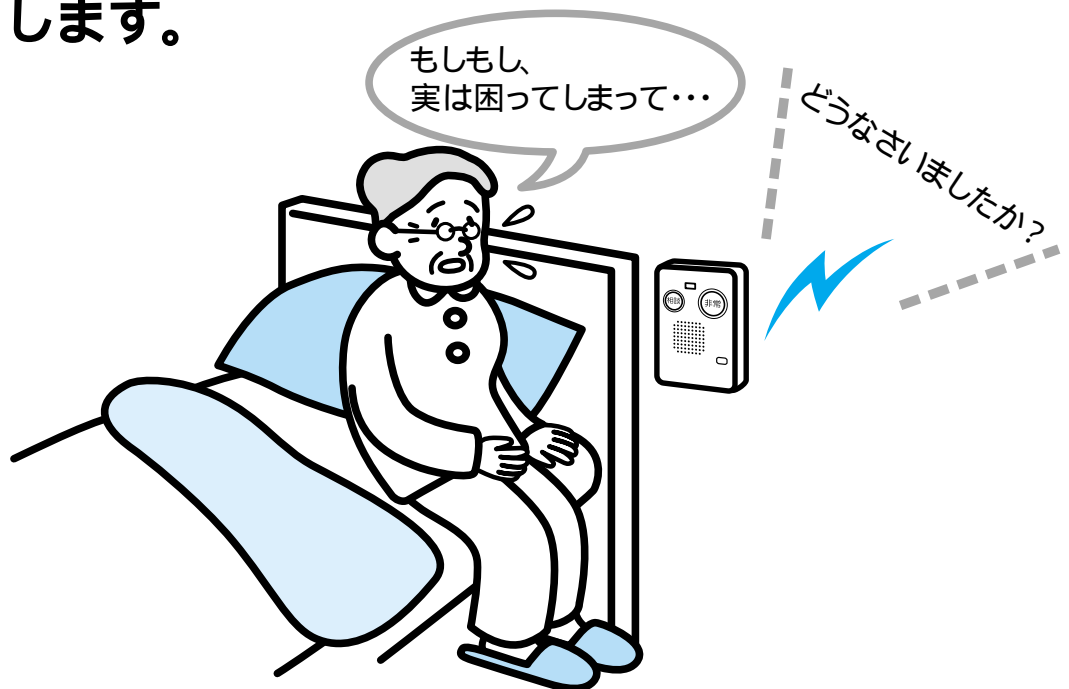
相談 を押します。

相談先に電話がつながります。



2

マイクに向かってお話しします。

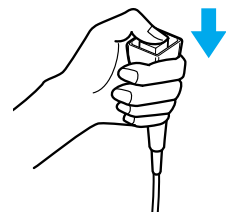


オプションを
利用する

オプションを接続して使うには

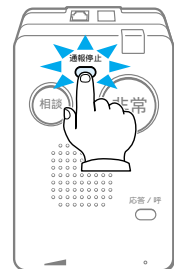
ワン
ポイント

リモートスイッチSで緊急通報するには☞
スイッチを押します。緊急連絡先につながった
ら、マイクに向かってお話しします。



まちがえて押したときは☞

通報停止 を押します。通報や呼び出しが停止されます。
他のオプション機器の **通報停止** を押しても通報を停止し
ます。



相手の方の声が聞こえにくいときは☞
スピーカ音量つまみで調整します。



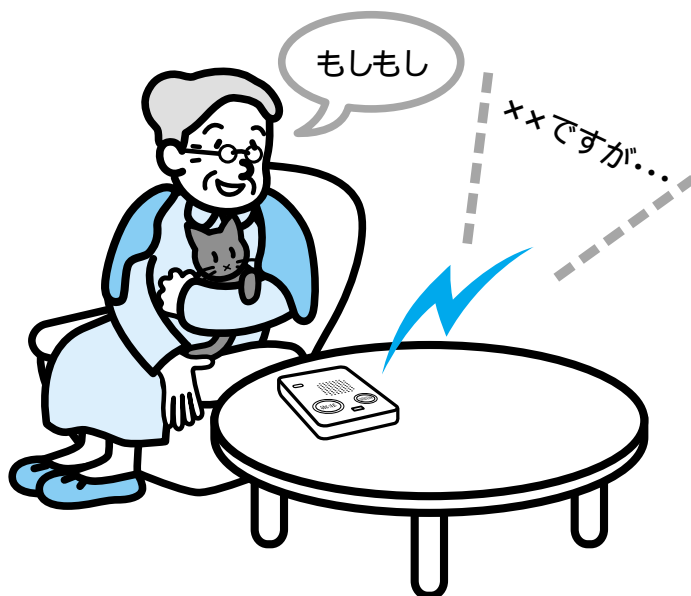
呼び出し音が鳴ったときに電話に出る

- 1** 着信ランプが点滅している間に、**応答/呼**を押します。

相手の方とつながります。



- 2** マイクに向かってお話しします。



- 3** お話しがおわったら、もう一度**応答/呼**を押します。

通話が切れます。

オプションを利用する

オプションを接続して使うには



接続しているSL-7号通報装置を呼び出すには☎
電話を受けるときと同じ手順です。

応答/呼を押します。相手の方が出たらマイクに向かってお話しします。
終わったらもう一度**応答/呼**を押します。

SL-6号電話機を接続しているときは☎

SL-7号通報装置とSL-6号電話機の両方が呼び出されます。応答操作をした方とお話しできます。

呼び出し音の鳴り方は☎

外からかかってきたときや、接続している電話機からかかってきたときは「プルルル...プルルル...」と鳴ります。

サブコールドアホンとの通話は☎

サブコールドアホンとの通話はできません。

相手の方の声が聞こえにくいときは☎

スピーカ音量つまみで調整します。



オプションを接続して使うには

SL-6号電話機

SL-6号電話機からでも、緊急通報や相談電話がかけられます。
また、かかってきた電話を受けたり、接続しているSL-7号通報装置
やハンドフリーボックスを呼び出すこともできます。

SL-6号電話機の詳しい使いかたについては、「SL-6号電話機（オプション）を活用する」
（P43）を参照してください。

緊急通報する

からだの調子が悪いときなどに、登録してある緊急連絡先に通報でき
ます。

1

非常 を押します。

「ピーポーピーポー緊急通報電話機」という警報音が鳴り、緊急連絡先に電
話がつながります。



2

マイクに向かってお話しします。

気分が悪いのですが...
来ていただけますか？

すぐにうかがいます



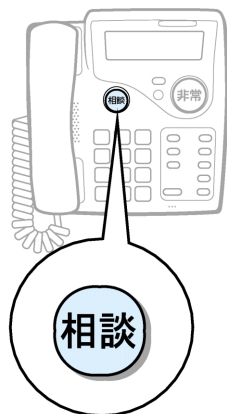
相談電話をかける

ちょっと困ったときなどに、登録してある相談先にボタン1つで電話がかけられます。

1

相談 を押して、ハンドセットを取り上げます。

相談先に電話がつながります。



2

お話しします。



オプションを
利用する

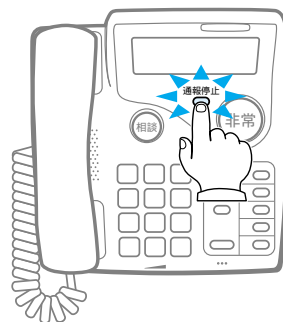
オプションを接続して使うには

ワン
ポイント

まちがえて押したときは☞

通報停止 を押します。通報や呼び出しが停止されます。

他のオプション機器の **通報停止** を押しても通報を停止します。



スピーカやハンドセットからの声が聞き取りにくいときは (☞P50)

オプションを接続して使うには

呼び出し音が鳴ったときに電話に出る

呼び出し音が鳴ったら、ハンドセットを取り上げ、お話しします。



オプションを
利用する

オプションを接続して使うには

ワン ポイント

SL-7号通報装置などを呼び出すには (☞P58)

呼び出し音の音量を変えたいときは (☞P50)

呼び出し音の鳴り方は☞

外からかかってきたときや、接続している電話機からかかってきたときは「プルルル...プルルル...」と鳴ります。

サブコールドアホンのベルが押されたときには「ピンポン」と鳴ります。

サブコールドアホン

サブコールドアホンからの呼び出しには、SL-7号通報装置または、オプションのSL-6号電話機で応答することができます。(P23)
また、緊急通報時に通報先が応答するまでの間、警報音をサブコールドアホンのスピーカから鳴らすことによって、緊急事態の発生を外の方にも気づいていただくことができます。



オプションを
利用する

オプションを接続して使うには

オプションを接続して使うには

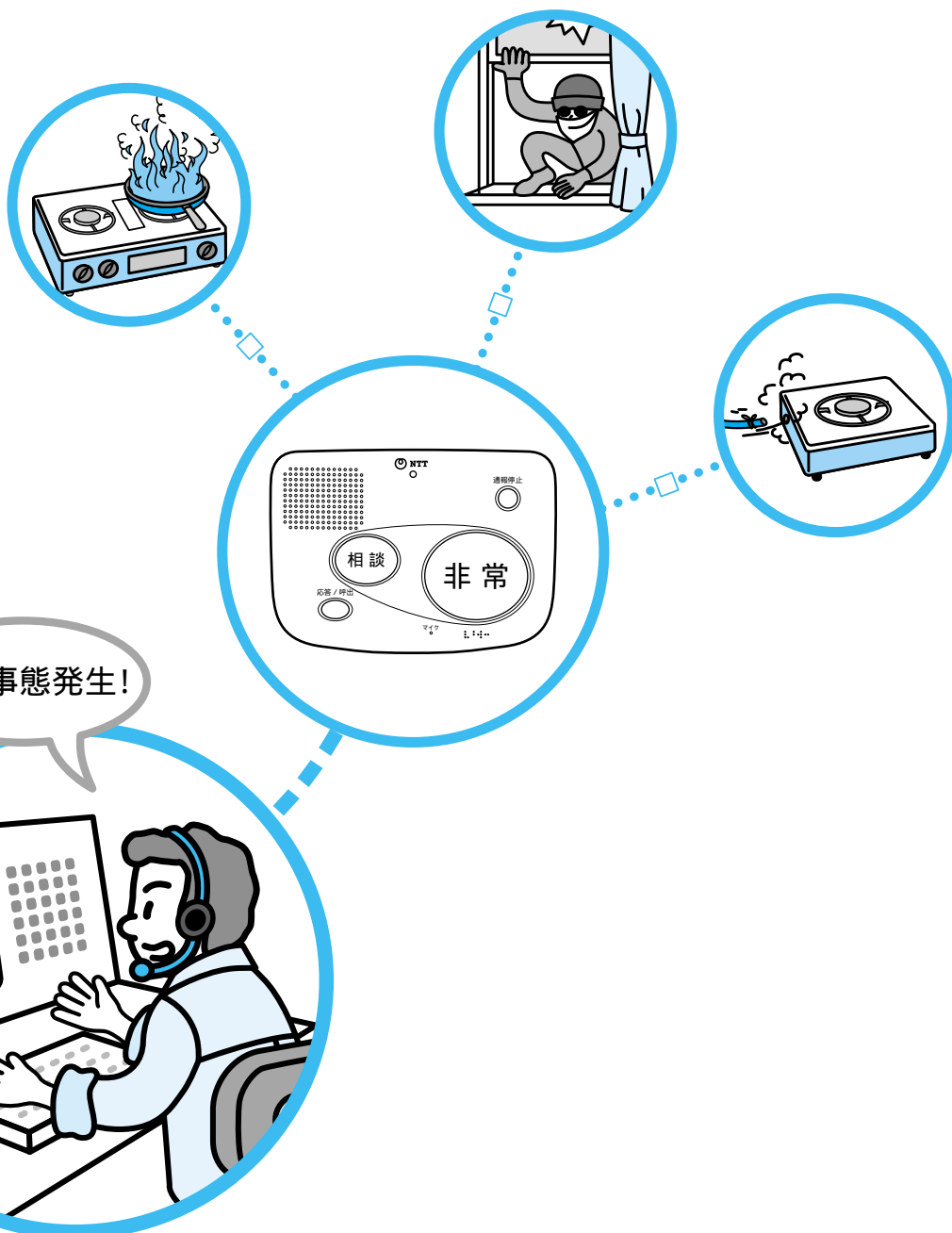
SL-7号通報装置には、火災、ガスもれ、防犯用などの市販のセンサを4つまで接続することができます。

各種センサ

センサが異常を感知すると、SL-7号通報装置が警報音を鳴らし、あらかじめ登録してある通報先に自動的に通報します。

通報先が応答すると、警報音が停止します。

みなさまがお留守のときでも、一定の時間SL-7号通報装置がマイクでお部屋の様子（物音など）を通報先に伝えることもできます。



オプションを
利用する

オプションを接続して使うには

SL-6号電話機(オプション)を活用する

ここでは、SL-6号電話機をお使いになる前に
知っておいていただきたいことをまとめています。



SL-6号電話機でできること	44
セットの確認	45
各部の名前とはたらき	46
日時を合わせるには	49
声や呼び出し音を調節するには	50
電話をかけるには / 受けるには	51
電話をかけ直すには (再ダイヤル)	55
ワンタッチボタンで電話をかけるには	56
短縮番号で電話をかけるには	57
内線電話をかけるには	58
より便利に使う	59
SL-6号電話機の各種登録・設定	61

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL-6号電話機(オ
プション)を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

SL-6号電話機でできること

SL-6号電話機は、SL-7号通報装置と同じように簡単な操作で緊急通報や相談電話がかけられる緊急通報用電話機です。

また、ダイヤルボタンやワンタッチボタンを使ってふつうに電話をかけたり受けたりできる、通常の電話機としてもお使いいただけます。

参考

SL-6号電話機は110番、119番などに通報を行う装置ではありません。

緊急通報 (☞P38)

非常 を押すだけで、緊急連絡先に電話がつながります。



相談電話 (☞P39)

相談 を押すだけで、登録してある相談先に電話がかけられます。



内線通話 (☞P58)

接続したSL-7号通報装置やオプションのハンドフリーボックスなどと、内線通話ができます。

豊富なダイヤル機能 (☞P55、56、57)

最後にかけた相手の方にボタン1つでかけ直せる再ダイヤル、登録した相手先に簡単にかかけられるワンタッチボタン、短縮番号などがご利用になれます。

セットの確認

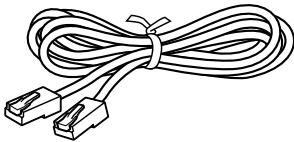
次のものがそろっているか、お確かめください。

本体

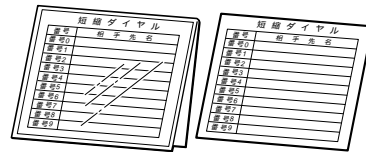


SL-6号電話機本体

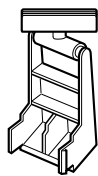
付属品



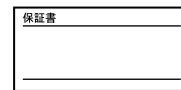
電話機コード（1本）



短縮番号カード（2枚）
カードケース（1枚）



カードケースおさえ（1個）



保証書
（1枚）

SL-6号電話機（オ
プション）を活用する

セットの確認

セットに足りないものがあった場合などお気づきの点がありましたら、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

各部の名前とはたらき

前面

液晶ディスプレイ (P48)

相談 ボタン

相談先にかけるときに押します。

着信ランプ

電話がかかってきたときや、サブコールドアホンからの呼び出しのときに点滅します。

通報停止 ボタン

まちがえて **非常** や **相談** ボタンを押したときに押します。通報が取り消されます。

フックスイッチ

電話番号プレート

ご自分の電話機の電話番号を記入してください。

電源ランプ

非常 ボタン

緊急連絡先にかけるときに押します。

受話口

ハンドセット

送話口

短縮 ボタン

短縮番号で電話をかけるときに押します。

キャッチ ボタン

キャッチホンサービスを受けるときに押します。

ワンタッチ ボタン

ワンタッチボタンに登録してある電話番号に電話するときに押します。

ワンタッチボタンプレート
ワンタッチボタンに登録した相手の名前などを書いておきます。

ハンドセットコード

スピーカー

着信音や警報音が出ます。ハンドフリー通話のときは、相手の方の声が聞こえます。

再ダイヤル ボタン

最後にかけた相手の方へかけ直すときに押します。

ダイヤルボタン

電話をかけるときや、機能の登録・設定などに使います。

登録 ボタン

各種機能の設定や登録をするときに押します。
ワンタッチボタンプレートの透明カバーの下にあります。

マイク

ハンドセットを取らずにお話しするときは、ここに話しかけます。

ハンドフリー ボタン

ハンドセットを取らずにお話しするときに押します。

NTTの市話電話機(オ)
ハンセットを活用

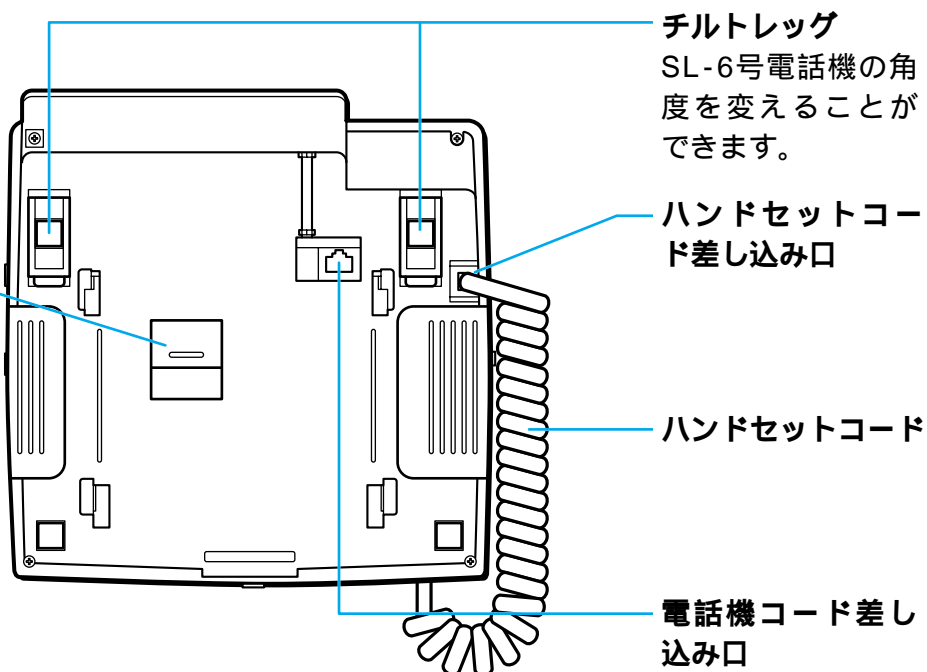
各部の名前とはたらき

裏面

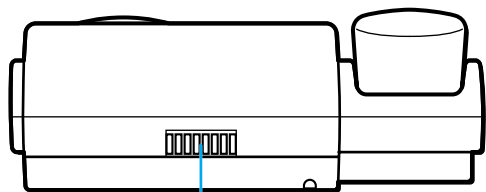
各種設定スイッチ

(☞P75)

SL-6号電話機の初期設定を確認、変更するためのスイッチです。



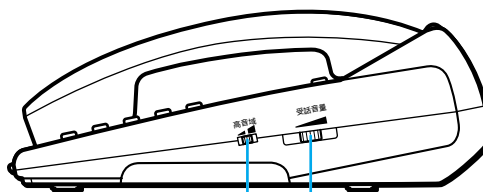
上部側面



短縮番号カードケースおさえ取り付け口(☞P57)

短縮番号カードを、カードケースおさえでここに取り付けることができます。

右側面



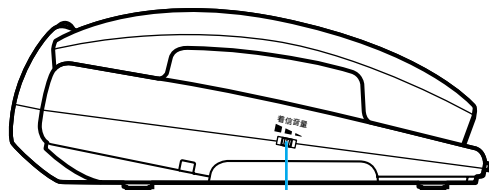
受話音量 つまみ(☞P50)

相手の方の声が聞こえにくいときに、音量を調節することができます。

高音域 スイッチ(☞P50)

相手の方の声の高音部が聞こえにくいときに、高音部を強調することができます。

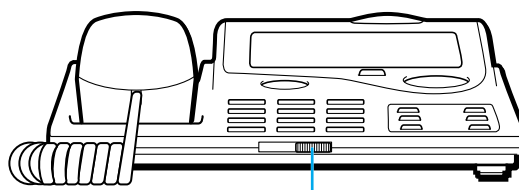
左側面



着信音量 スイッチ(☞P50)

電話がかかってきたときの着信音の音量を、3段階で調節することができます。

下部側面



スピーカ音量 つまみ(☞P50)

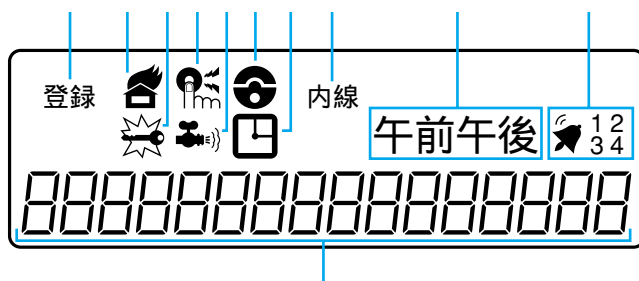
ハンズフリーで通話しているときに、相手の方の声の音量を調節することができます。

SL-6号電話機(オ
プション)を活用する

各部の名前とはたらき

各部の名前とはたらき

液晶ディスプレイの見かた



こんなときに表示されます

登録	各種登録を行うとき (📞P61、76)
火災センサ	火災センサ通報を行うとき (📞P42)
防犯センサ	防犯センサ通報を行うとき (📞P42)
緊急通報	緊急通報を行うとき (📞P38)
ガスもれセンサ	ガスもれセンサ通報を行うとき (📞P42)
ハンドセット、ハンドフリー通話	☎️ はハンドセット通話のとき (📞P51) 📞 はハンドフリー通話のとき (📞P53)
定時通報	定時通報を行うとき (📞P30)
内線	内線通話を行うとき (📞P58)
午前 / 午後	時刻により 午前 または 午後 を表示
アラーム	アラームが設定されているとき (📞P60)
数字、アルファベットなど	電話番号、時刻などの数字、および各種登録用のアルファベットなどを表示しているとき

S-100 電話機 (オプション) を活用する

各部の名前とはたらき

日時を合わせるには

時計表示を現在の日時に合わせます。

1

通報停止 と **ハンズフリー** を3秒間以上いっしょに押します。

「プー」という音のあと、3秒間以上押し続けると、日時設定画面が表示されます。



参考

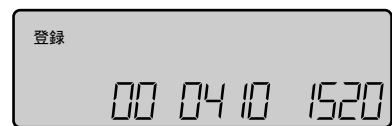
3秒以内に指を離すと、アラーム設定画面が表示されます (P66)。

2

日付と時刻をダイヤルボタンで押します。

西暦は下2桁、月と日は2桁ずつ、時刻は24時間制で押します。

「2000年4月10日 午後3時20分」の場合は「00 0410 1520」と押します。



ワンポイント

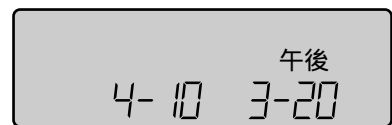
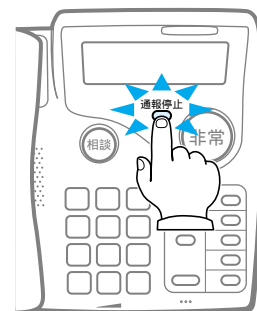
押しまちがえたときは

☞
ハンドセットを一度上げて戻し、手順1から操作し直してください。

3

通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、登録が終わります。ディスプレイに日時が表示されます。



参考

入力中に **[*]** または **[#]** を押すと、入力済みの数字を左右に1桁ずつ点滅させ、正しい数字を入力し直すことができます。

操作の途中で約30秒間ボタンを押さないでいると、登録操作が中止されます。もう一度手順1から操作し直してください。

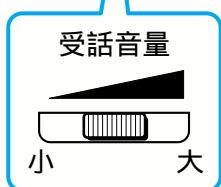
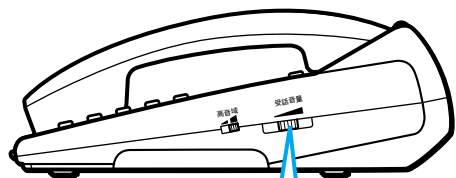
S16号電話機(オ
プション)を活用する

日時を合わせるには

声や呼び出し音を調節するには

ハンドセットから聞こえる声の音量を調節する

ハンドセットでお話するときには相手の方が声が聞き取りにくい場合には、**受話音量**つまみで調節します。

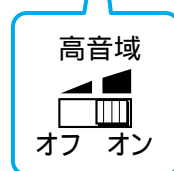
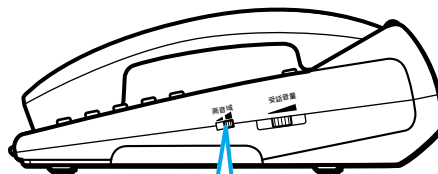


参考

環境により大きくしすぎると、ハウリングすることがあります。ハウリングしない範囲でご使用ください。

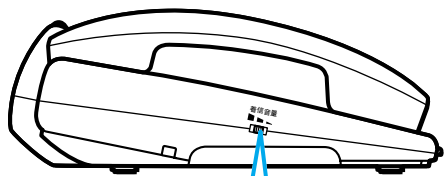
声の高音部分を聞き取りやすくする

ハンドセットでお話するときには相手の方の声の高音部分が聞き取りにくい場合には、**高音域**スイッチをオンにします。



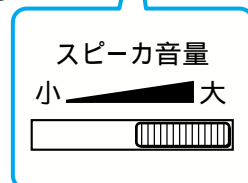
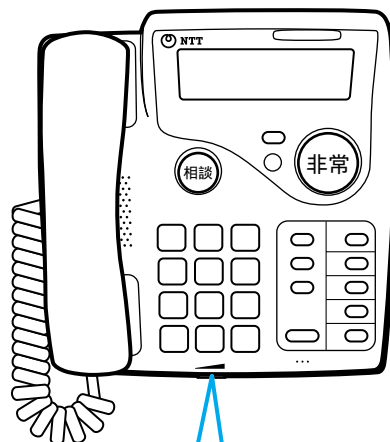
呼び出し音の音量を調節する

電話やサブコールドアホンなどの呼び出し音の大きさは、**着信音量**スイッチで3段階に調節できます。



スピーカから聞こえる声の音量を調節する

スピーカから聞こえる相手の方の声が聞こえにくい場合には、**スピーカ音量**つまみで調節します。



電話をかけるには / 受けるには

電話をかける

ハンドセットを取り上げて、電話番号を押します。
相手の方が出たらお話しします。ディスプレイには通話時間が表示されます。



呼び出し音が鳴ったときに電話に出る

ハンドセットを置いたまま電話を受ける方法もあります。(☞P54)

呼び出し音が鳴ったら、ハンドセットを取り上げ、お話しします。

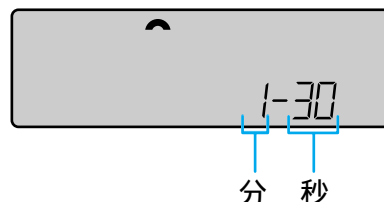
ディスプレイには通話時間が表示されます。

SL-6号電話機(オ
プション)を活用する

電話をかけるには / 受けるには

ワン
ポイント

電話番号をまちがえて押したときは☞
ハンドセットを戻します。
通話時間の見かたは☞



ハンドセットからの声が聞き取りにくいときは (☞P50)

呼び出し音の音量を変えたいときは (☞P50)

呼び出し音の鳴り方は☞

外からかかってきたときや、接続している電話機からかかってきたときは「プルルル...プルルル...」と鳴ります。

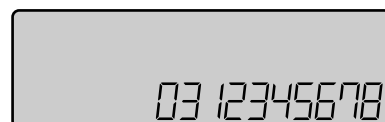
サブコールドアホンのベルが押されたときには「ピンポーン」と鳴ります。

電話をかけるには / 受けるには

電話番号を確認してかける

押した電話番号にまちがいがないかどうか、ディスプレイで確かめてから電話をかけることができます。

- 1 ハンドセットを置いたまま、電話番号を押します。



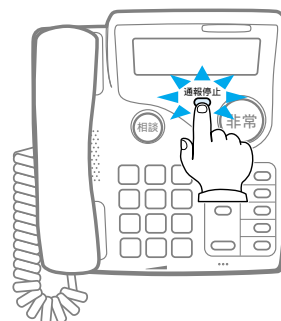
- 2 まちがいがないければ、ハンドセットを取り上げます。

ディスプレイに表示された電話番号に電話がかかります。



ワンポイント

電話番号をまちがえて押したときは👉
通報停止を押します。
電話番号の表示が消えます。



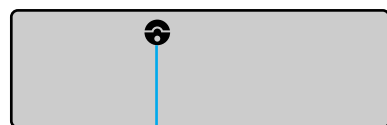
ハンドセットを置いたまま電話をかける

ハンドセットを持たずに電話をかけ、マイクとスピーカでお話することができます。

1

ハンドフリー を押
します。

スピーカから「ツー」という音が聞こえます。

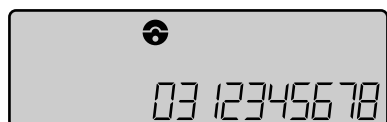


ハンドフリーの
ときに表示され
ます

2

電話番号 を押しま
す。

相手の方が出たら、マイクに向
かってお話しします。相手の方
の声は、スピーカから聞こえま
す。



3

お話しがおわった
ら、 **ハンドフリー**
を押します。

通話が切れます。

S-L-6号電話機(オ
プション)を活用する

電話をかけるには / 受けるには



電話番号をまちがえて押したときは👉

ハンドフリー を押してから、手順1からやり直します。

スピーカからの声が聞こえにくいときは (👉P50)

電話をかけるには / 受けるには

ハンドセットを置いたまま電話を受ける

ハンドセットを持たずに電話を受け、マイクとスピーカでお話することができます。

1

呼び出し音が鳴ったら、**ハンドフリー**を押します。

マイクに向かってお話しします。相手の方の声はスピーカから聞こえます。



2

お話しがおわったら、**ハンドフリー**を押します。

通話が切れます。

ワンポイント

マイクとの距離は☞
約60 cm以内を目安としてお話しください。

よりスムーズにお話しするには☞
お互いの声が重ならないように、相手の方が話し終わってから話し始めるようにすると、スムーズにお話しできます。また、周囲の雑音が大きいときには、ハンドセットでお話しください。

スピーカからの声が聞こえにくいときは (☞P50)

参考

ハンドフリーボックスおよびサブコールドアホンとの内線通話では、ハンドセットを置いたままお話しすることはできません。必ずハンドセットでお話しください。

電話をかけ直すには（再ダイヤル）

相手の方がお話し中だったときや、言い忘れたことがあるときに、簡単に電話をかけ直すことができます。

1

ハンドセットを取り上げて、**再ダイヤル**を押します。

最後にかけた電話番号に、自動的にかけ直ります。



S・L・6号電話機（オプション）を活用する

電話をかけ直すには（再ダイヤル）

ワンポイント

もっと前にかけた電話番号にかけ直すには☞

ハンドセットを置いたまま **再ダイヤル** を押すと、最近かけた電話番号を3件までさかのぼることができます。

再ダイヤル を繰り返し押して、かけ直したい電話番号を表示させます。

ハンドセットを取り上げます。

参考

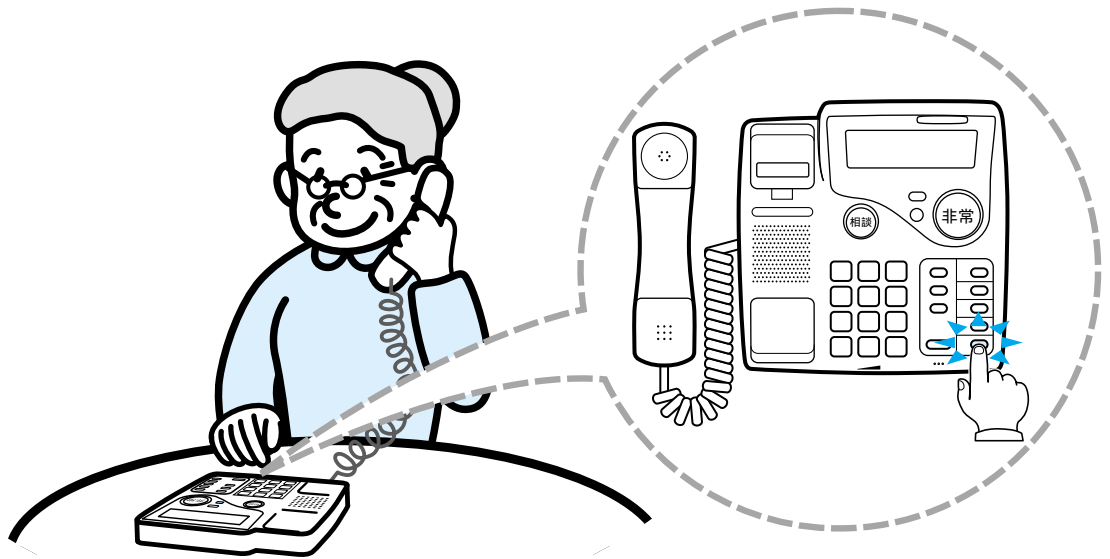
17桁以上ダイヤルしたときには、電話番号は再ダイヤルに記憶されません。

ワンタッチボタンで電話をかけるには

ワンタッチボタンに登録されている電話番号に、ボタン1つで電話することができます。

ハンドセットを取り上げて、ワンタッチボタンを押します。

登録されている電話番号に電話がかかります。



SL-6号電話機(オプション)を活用する

ワンタッチボタンで電話をかけるには

ワンポイント

ワンタッチボタンに電話番号を登録するには (☞P61)

ワンタッチボタンプレーットの使いかた☞

先のとがったもので、ワンタッチボタンプレーットの透明カバーを外します。

ワンタッチボタンプレーットを外し、登録した相手先の名前を書き込みます。

ワンタッチボタンプレーット、透明カバーを取り付けます。

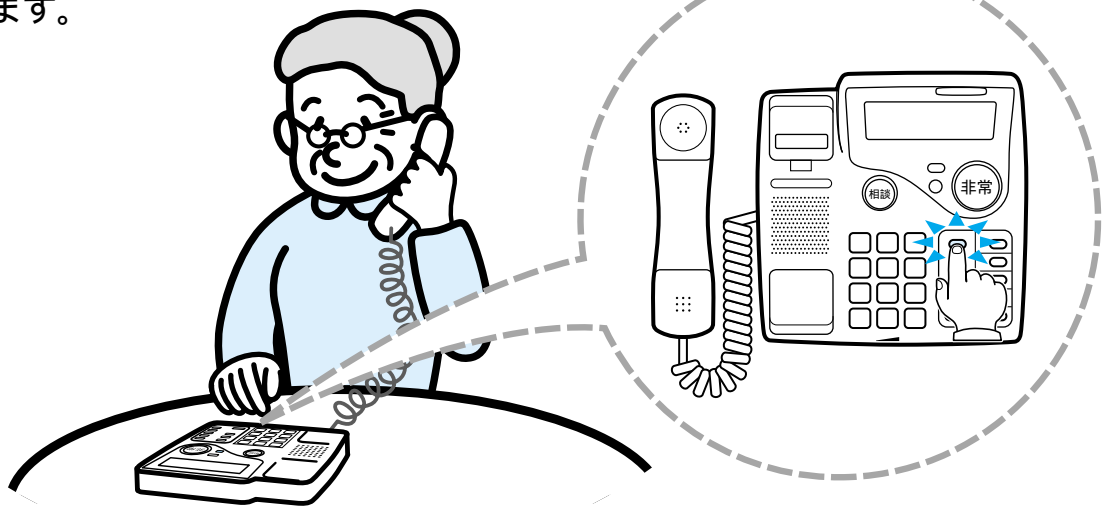


短縮番号で電話をかけるには

電話番号を短縮番号に登録しておけば、長い電話番号を押さなくても簡単な操作で電話がかけられます。

① ハンドセットを取り上げて、**短縮**を押します。

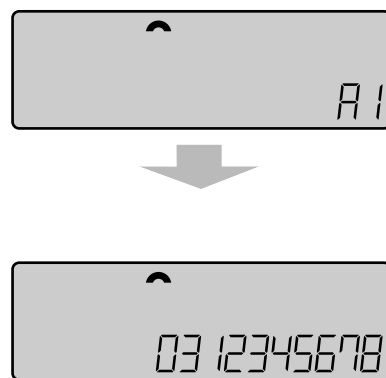
ディスプレイに「A」が表示されます。



② 短縮番号を押します。

登録されている電話番号に電話がかかります。

例：「03-1234-5678」が登録されている短縮番号「1」を押した場合



ワンポイント

短縮番号に電話番号を登録するには (P62)

短縮番号カードの使いかた

短縮番号カードに、登録した相手先の名前を書き込みます。

短縮番号カードをカードケースにはさみます。

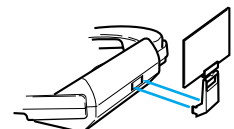
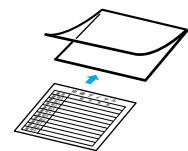
カードケースをカードケースおさえに取り付けます。

カードケースおさえを、短縮番号カードケースおさえ取り付け口にはめこみます。

短縮番号を20か所まで登録できる設定にしたときは

手順2で、2桁の短縮番号(00~19)を押します。

お買い求め時は10か所登録できる設定になっています。(P75)



S-L6号電話機(オプション)を活用する

短縮番号で電話をかけるには

内線電話をかけるには

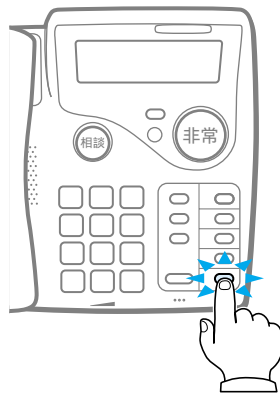
SL-6号電話機から、接続しているSL-7号通報装置やハンドフリーボックスなどに、内線電話がかけられます。

内線電話のかけかたには、外からの電話と同じ呼び出し音を鳴らす「信号呼び出し」と、呼び出し音を鳴らさずにスピーカから声で呼びかける「スピーカ呼び出し」の2とおりがあります。

信号呼び出しでかける

ハンドセットを置いたまま、内線ボタン（ワンタッチボタン）を押します。

相手の方が出たら、ハンドセットを取り上げてお話しします。

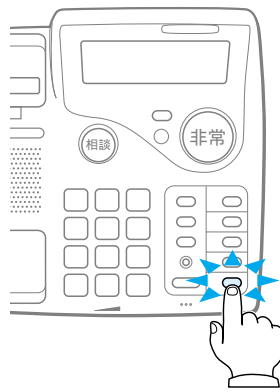


例：5番目のワンタッチボタンに内線番号「1」を登録してある場合

スピーカ呼び出しでかける

ハンドセットを取り上げて、内線ボタン（ワンタッチボタン）を押します。

ハンドセットで相手の方に呼びかけます。



例：5番目のワンタッチボタンに内線番号「1」を登録してある場合

ワンポイント

ワンタッチボタンに内線番号を登録するには (P64)

内線ボタンに内線番号を登録していないときは

ワンタッチボタンに内線ボタン機能を割り付けただけで、内線番号を登録していない場合には、内線ボタンを押したあと、ダイヤルボタンで相手先の内線番号 (P65) を押します。

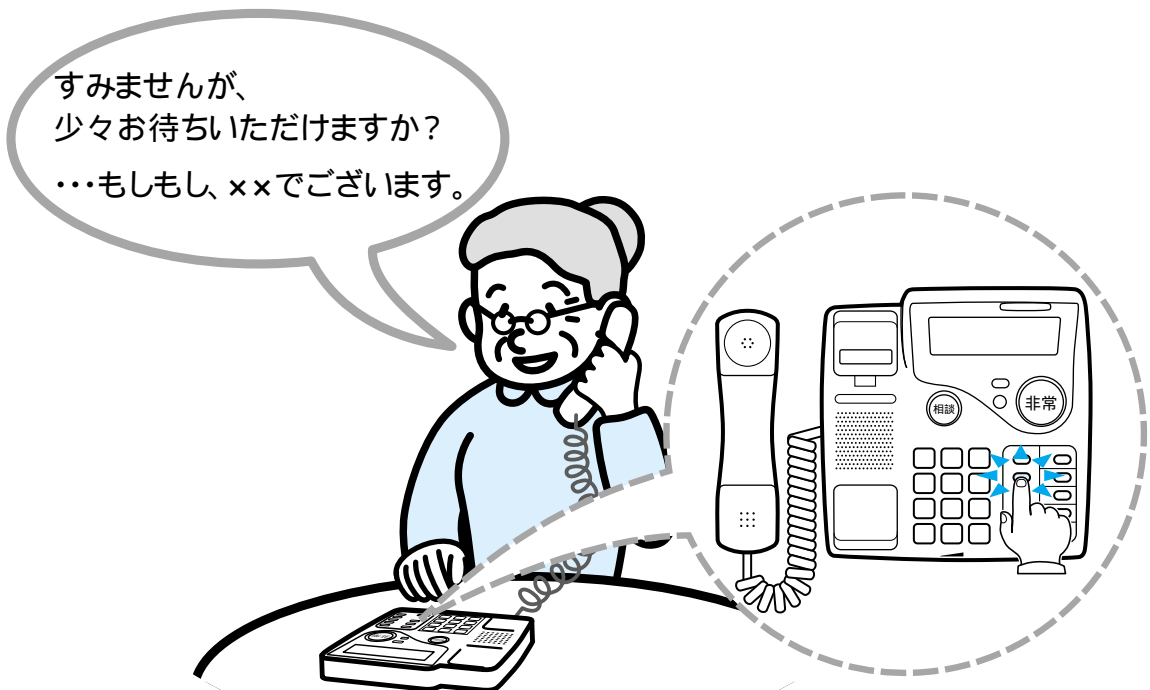
より便利に使う

キャッチホンを受ける

キャッチホンサービスは、電話中に別の方からかかってきた電話を受けられるサービスです。お話し中の相手をお待たせし、ボタン1つで相手の方を切り替えながらお話しすることができます。

1 通話中にキャッチホンの信号音が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、**キャッチ**を押します。

2 あとからかけてきた方とお話しします。



3 はじめの相手の方とのお話しに戻るときは、もう一度**キャッチ**を押します。

S・I・6号電話機(オ
プション)を活用する

より便利に使う

参考

キャッチホンサービスは、当社の有料サービスです。料金などの詳細は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

より便利に使う

ダイヤル回線からプッシュ信号を送る

SL-7号通報装置をダイヤル回線に接続してお使いの場合でも、SL-6号電話機でプッシュホンサービスを利用することができます。

1 電話をかけ、つながったら **☒** を押します。
プッシュ信号に切り替わります。

2 送りたい番号のダイヤルボタンを押します。
押した番号がプッシュ信号で送られます。

ワン
ポイント

利用できるプッシュホンサービスの種類は☞
クレジット電話サービス、銀行ANSERサービス、留守番電話へのリモコン操作、
ポケットベルサービスなどがあります。

参考

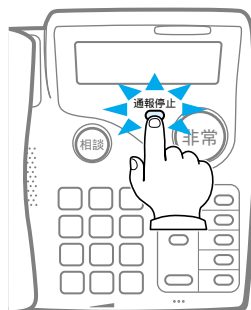
電話を切ると、ダイヤル信号に戻ります。

アラームを利用する

毎日同じ時刻にSL-6号電話機からアラーム音を鳴らすことができます。アラームは一度セットすると、解除するまで毎日鳴るので、目覚ましのかわりなどにお使いになれます。



アラームは約1分後に止まりますが、止めたいときは **通報停止** を押します。



ワン
ポイント

アラームをセットするには (☞P66)
アラームを解除するには (☞P67)

SL-6号電話機の各種登録・設定

ここでは登録・設定のうち、次の操作方を説明します。

- ワンタッチボタン
- 内線電話 (☎P64)
- 短縮番号 (☎P62)
- アラーム (☎P66)

SL-6号電話機の初期設定を確認、変更する方法や、各種機能設定を変更する方法については、「設定と接続方法」(☎P74)を参照してください。

ワンタッチボタンに電話番号を登録する

よくかける電話番号を5か所まで登録することができます。登録先は、ワンタッチボタンプレート (☎P56) に書き込んでおくのが便利です。

例：一番上のワンタッチボタンに「03-1234-5678」を登録する場合

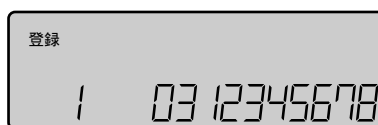
- 1** **通報停止** とワンタッチボタンをいっしょに押します。
「プー」という音が鳴ります。



すでに電話番号が登録されているときは☎

登録されている電話番号が表示されます。

- 2** **登録したい電話番号** を押します。
最大16桁まで登録できます。



押しまちがえたときは☎

ハンドセットを一度上げて戻し、手順1から操作し直してください。

SL-6号電話機の各種登録・設定

3

通報停止 を押し
ます。

「プー」という音が鳴り、登録
が終わります。



ワン
ポイント

ワンタッチボタンに登録した電話番号を消すには☞
手順2で、電話番号を押すかわりに**相談**を押します。「プー」という音が鳴り、電
話番号が消えます。また、新しく電話番号を登録すると、前に登録した電話番号は
自動的に消えます。

参考

ワンタッチボタンに内線番号と外線番号を同時に登録することはできません。

短縮番号を登録する

短縮番号（0～9）に電話番号を10か所まで登録することができます。
登録先は、短縮番号カード（☞P57）に書き込んでおくと便利です。

例：短縮番号「1」に「03-1234-5678」を登録する場合

1

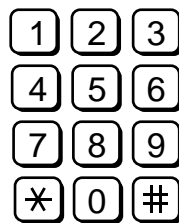
通報停止 と **短縮** を
いっしょに押します。

「プー」という音が鳴ります。



2

短縮番号をダイヤル
ボタンで押します。



ワン
ポイント

押しまちが
えたときは

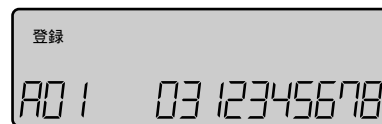


ハンドセットを一度上げて
戻し、手順1から操作し直
してください。

3

登録したい電話番号を押します。

最大16桁まで登録できます。



続けて登録するには

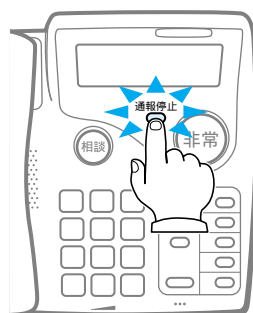


手順3のあと「短縮」を押し、手順2からの操作を繰り返します。

4

通報停止を押します。

「プー」という音が鳴り、登録が終わります。



登録した短縮番号を消すには

手順2で消したい短縮番号を押し、手順3で電話番号を押すかわりに「相談」を押します。「プー」という音が鳴り、電話番号が消えます。また、新しく電話番号を登録すると、前に登録した電話番号は自動的に消えます。

短縮番号を20か所まで登録できるようにするには

SL-6号電話機の初期設定を変えて、20か所まで登録できるようにすることができます。(P75) この場合、短縮番号で電話をかけるときには、短縮ボタン+2桁の短縮番号(00~19)を押します。

SL-6号電話機の各種登録・設定

内線番号を登録する

内線電話のかけかたには2とおりの方法があります。

内線ボタンと内線番号を押してかける（ワンタッチボタンに内線ボタン機能のみを登録する）

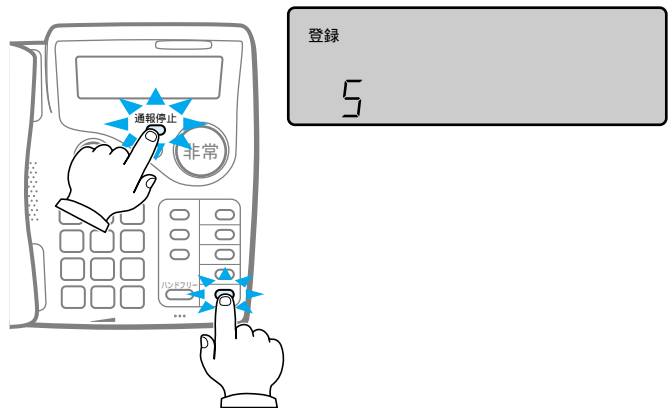
ボタン1つで内線電話をかける（ワンタッチボタンに、内線ボタン機能と内線番号を登録する）

ワンタッチボタンに内線ボタン機能のみを登録する

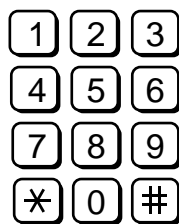
例：5番目のワンタッチボタンに登録する場合

- 1 **通報停止** とワンタッチボタンをいっしょに押します。

「プー」という音が鳴ります。

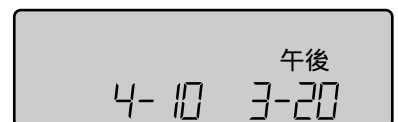
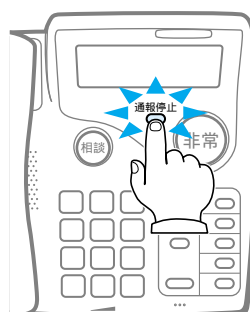


- 2 **# 0** と押します。



- 3 **通報停止** を押しま

す。
「プー」という音が鳴り、ワンタッチボタンに内線ボタン機能が登録されます。



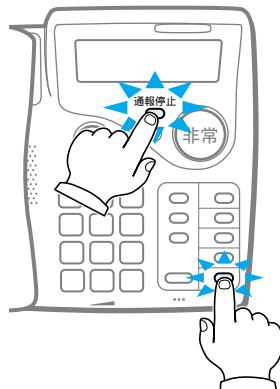
ワンタッチボタンに内線ボタン機能と内線番号を登録する

例：5番目のワンタッチボタンに内線番号「1」を登録する場合

1

通報停止 とワンタッチボタンをいっしょに押します。

「プー」という音が鳴ります。



2

を押し、登録したい内線番号を押します。



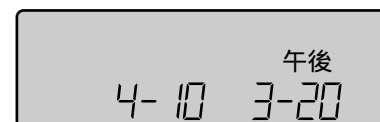
内線番号は、接続している機器によって異なります。

機器名	内線番号
SL-6号ハンドフリーボックス	1～3
サブコールドアホン	6
SL-7号通報装置	8

3

通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、ワンタッチボタンに内線番号が登録されます。



ワンポイント

登録した内線番号を消すには

次のように操作します。

通報停止 と消したい内線番号のワンタッチボタンを押します。

相談 を押します。

通報停止 を押します。

また、新しく内線番号を登録すると、前に登録した内線番号は自動的に消えます。

ワンタッチボタンプレートの使いかた (P56)

登録先は、ワンタッチボタンプレートに書き込んでおくと便利です。

SL-6号電話機(オプシヨ)を活用する

SL-6号電話機の各種登録・設定

参考

ワンタッチボタンに内線番号と外線番号を同時に登録することはできません。

SL-6号電話機の各種登録・設定

アラームをセットする

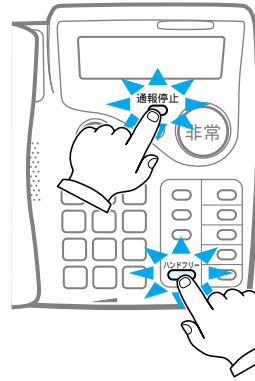
時刻をお知らせするアラーム（1日4回まで）がセットできます。一度セットすると、解除するまで毎日同じ時刻に鳴ります。

例：午後7時30分にセットする場合

1

通報停止 と
ハンズフリー をいっ
しょに押します。

「ブー」という音が鳴ります。



参考

3秒以上押しつづけると、日時設定画面に切り替わります。（P49）

2

アラームを鳴らす時刻をダイヤルボタンで押します。

時刻は24時間制で押します。
「午後7時30分」の場合「1930」と押します。



ワンポイント

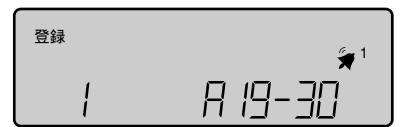
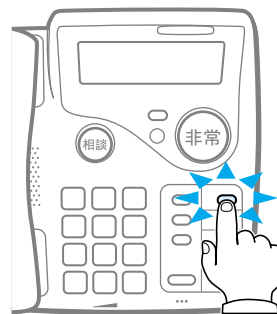
押しまちがえたときは

ハンズセットを一度上げて戻し、手順1から操作し直してください。

3

一番上のワンタッチボタンを押します。

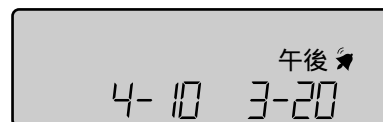
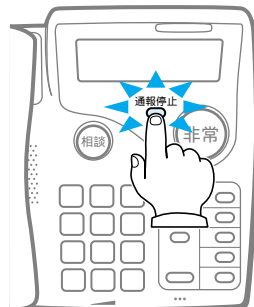
時刻の前に「A」が表示され、アラームがセットされます。



4

通報停止 を押しま す。

「プー」という音が鳴り、ディスプレイが日時に戻ります。



ワン
ポイント

1日に2回以上アラームが鳴るようにするには☞

手順1のあと「**ハンドフリー**」を押すと、1回押すごとにアラーム番号が「1 2 3 4 1 ...」の順で切り替わります。アラーム番号を切り替え、手順2～4で別の時刻をセットします。

アラームを解除するには☞

手順1、3、4の操作をします。

1日2回以上のアラームがセットされているときは、手順1のあと「**ハンドフリー**」を繰り返し押し、解除したいアラーム番号に切り替えてから、手順3、4の操作をします。

メモ

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for taking notes.

スマートフォンを活用
S1-6 電話機(オ)

こんなときには



停電になったときは
故障かな?と思ったら

70

72

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

S.L.6号電話機(オ
プション)を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

停電になったときは

SL-7号通報装置に停電時のための乾電池が取り付けられていれば、停電のときでも一定時間、通報などが行えます。

停電になったとき

スピーカから「停電です」というメッセージを3回流します。停電になったことを、登録した連絡先に自動的に通報するように設定しておくこともできます。(☞P88)

停電中は

停電から20時間以内のとき

新品のアルカリ乾電池の場合、1回以上の緊急通報を行うことができます。ただし、停電時の動作可能時間は、オプション機器の接続有無や停電通報の状況、および電話機の使用状態などで、停電から20時間以内であっても、緊急通報を行えないことがあります。

停電用電池が切れたとき

通報を行えません。接続した外部電話機やオプションのSL-6号電話機では、電話をかけたたり受けたたりすることはできますが、SL-6号電話機の着信音の大きさを変えることはできません。



電池切れ通報を設定していると☞

乾電池の残量が少なくなると、連絡先に自動的に通報します。

乾電池を入れないでご使用になると、約1時間後に電池切れ通報します。

停電が終わったとき

設定されている日時をご確認ください。正しくない場合は、設定し直してください。(☞P82)

SL-6号電話機を接続している場合は、ディスプレイの日時表示を確認してください。正しくない場合は、設定し直してください。(☞P49)

停電が終わったことを、登録した連絡先に自動的に通報するように設定しておくこともできます。(☞P88)

また、停電中は乾電池が急激に消耗します。停電が終わったら、乾電池を新品と交換してください。



警告

電源プラグが正しく差し込まれていないと、平常時に「停電です」というメッセージが流れてしまったり、通報が行われてしまったりすることがあります。電源プラグは正しく差し込み、決して抜かないでください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、次の点をご確認ください。

SL-7号通報装置・SL-6号電話機(オプション)のトラブル

こんなとき	確認してください	対処	参照ページ
動作しない	電源コードがはずれていませんか？	正しく接続してください	P94
	停電中ではありませんか？	故障ではありません	P70
相手の方の声が聞き取りにくい	受話音量が小さく設定されていませんか？	受話音量を大きくしてください	P50
相手の方の声の高音部分が聞き取りにくい	高音域がオフに設定されていませんか？	高音域をオンに設定してください	P50
スピーカの音が聞こえにくい	スピーカ音量が小さく設定されていませんか？	スピーカ音量を大きくしてください	P22、50
呼び出し音が聞こえにくい	着信音量が小さく設定されていませんか？	着信音量を大きくしてください	P22、50
本体があたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がります	故障ではありません	

SL-6号電話機(オプション)のトラブル

こんなとき	確認してください	対処	参照ページ
「ツー」という発信音が聞こえない	電話機コードが正しく接続されていますか？	正しく接続してください	P94
スピーカから「ツー」という発信音が聞こえない	スピーカ音量が小さく設定されていませんか？	スピーカ音量を大きくしてください	P50
ワンタッチボタン、短縮番号で電話をかけることができない	ワンタッチボタンや短縮番号は登録されていますか？	ワンタッチボタン、または短縮番号を正しく登録してください	P61、62
ワンタッチボタン、再ダイヤルで電話をかけることができない	ワンタッチボタンや再ダイヤルで電話をかけている途中で、ほかのボタンを押していませんか？	電話がかかるまで、他のボタンは押さないでください	P55、56
日時が合っていない	日時の設定をまちがえていませんか？	日時の設定をやり直してください	P49
	停電がありませんでしたか？ ブレーカが落ちませんでしたか？		
	電源コードがコンセントから抜けませんでしたか？		

設定と接続方法



設定方法について	74
方法 SL-6号電話機(オプション)で登録・設定をする	75
方法 SL-7号通報装置で登録・設定をする	82
システムデータ設定一覧	86
配線のしかた	94

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL-6号電話機(オ
プション)を活用する

こんなときには

設定と接続方法

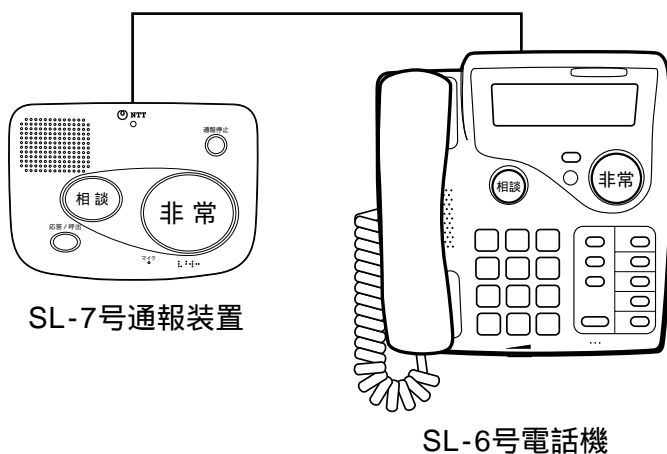
付
録

設定方法について

通報先や通報内容をはじめとする各種設定の操作は次の3つの方法で行うことができます。

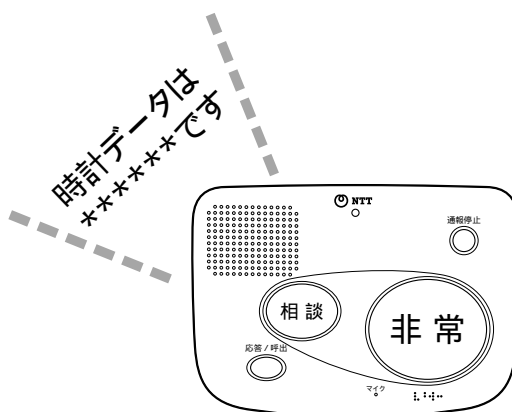
方法 SL-7号通報装置に接続したSL-6号電話機 (☞P75～81)

ディスプレイを見て確認しながら登録・設定を行うことができます。



方法 SL-7号通報装置本体 (☞P82～85)

音声ガイダンスに従ってボタン操作のみで登録・設定をします。



方法 SL-7号通報装置に接続したパソコン

パソコンでの登録・設定は、当社のサービス取扱所までご連絡ください。

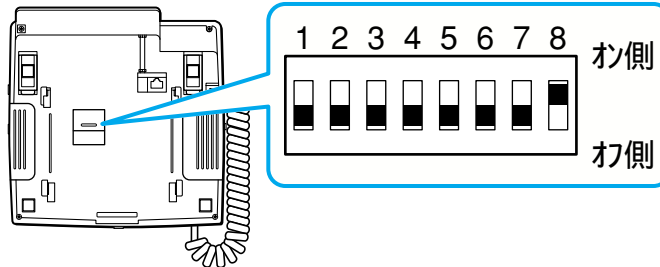
方法 SL-6号電話機(オプション)で登録・設定をする

オプションのSL-6号電話機を接続するときは、電話機裏の各種設定スイッチでSL-6号電話機本体の初期設定を確認し、必要に応じて設定を変更してください。

また、通報先や通報内容などSL-7号通報装置で行う登録・設定操作を、接続したSL-6号電話機を使って行うことができます。

設定スイッチで設定を確認・変更する

電話機裏の各種設定スイッチを見て、設定を確認してください。設定を変更するときは、先のとがったものでスイッチのオン/オフを切り替えます。



スイッチNo.	設定項目	設定内容	設定 (<input type="checkbox"/> は初期設定)
1	ワンタッチボタンの発信	ハンドセットを取り上げたりハンドフリーを押したりしなくてもワンタッチボタンを押すだけで発信できるように設定することができる	オン：ワンタッチで発信できる オフ：ワンタッチでは発信できない
2	キータッチトーン	ボタン（非常）や（相談）、ダイヤルボタンなどを押したときに、確認音が鳴るようにするかどうかの設定	オン：鳴らさない オフ：鳴らす
3	ダイヤル音声ガイダンス	ダイヤルボタンを押したときに、「いち」「に」などの音声ガイダンスを流すかどうかの設定	オン：流す オフ：流さない
4	電源ランプの点灯	電源ランプを常時点灯させておくかどうかの設定	オン：点灯しない オフ：点灯する
5	短縮ダイヤル登録宛先数	登録できる短縮ダイヤルの宛先数の設定	オン：20か所 オフ：10か所
6	テストモード	通常はオフで使用する	オン：テストモード オフ：通常モード
7	停電時のダイヤルスピード	ダイヤルスピードの設定*	オン：20 PPS オフ：10 PPS
8	停電時のダイヤル種別	電話回線が、プッシュ回線かダイヤル回線かの設定*	オン：プッシュ回線（PB） オフ：ダイヤル回線（DP）

*ダイヤル種別やダイヤルスピードがわからないときは、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

方法 SL-6号電話機(オプション)で登録・設定をする

登録・設定操作の流れ

各種機能設定の変更を、SL-6号電話機を使って行うことができます。

- ① **通報停止**と**登録**をいっしょに押します。

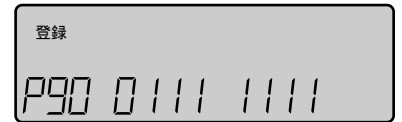
登録音が鳴ります。

▶ **登録**はワンタッチボタンプレートの下にあります。



- ② システムデータ番号(01~99)を入力します。

例: 「90」(ダイヤル種別、着信拒否の機能設定番号)を入力した場合



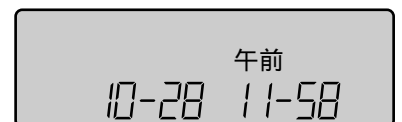
- ③ 設定値を変更します。

▶ **#**(左移動)または*****(右移動)を押して変更したい設定値の下にカーソルを移動させ、新しい設定値を入力します。



- ④ **通報停止**を押します。

登録音が鳴り、登録が終わります。



ワンポイント

設定変更を続けて行うには☞
手順3のあと、登録ボタンを押してから手順2~3を繰り返します。
登録を中止するには☞
ハンドセットを一度上げて戻します。

通報先や通報のしかたを登録する

緊急連絡先や相談先など、各種の通報先（最大14か所）を登録し、通報のしかたや通報順序などを設定します。

登録は次の手順で行います。

Step1 通報先の電話番号の登録と、その連絡先への通報方式を指定する

Step2 通報項目（8種の緊急通報・相談電話など）ごとに、通報順序と通報回数を設定する

STEP1：通報先と通報方式の登録

例：システムデータ番号「01」に「03-1234-5678」を登録し、通信方法「データ通報」を指定する場合

1 **通報停止** と **登録** とをいっしょに押します。

登録音が鳴ります。

▶ **登録** はワンタッチボタンプレートの下にあります。

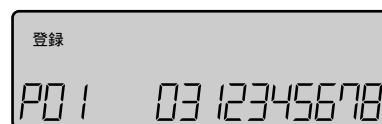


2 通報先のシステムデータ番号（01～14）を入力します。

▶すでに通報先が登録されている場合は、電話番号が表示されます。消去するときは**相談**を押します。



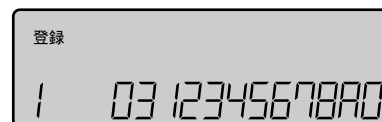
3 通報先の電話番号（最大16桁）を入力します。



方法 SL-6号電話機(オプション)で登録・設定をする

4 通報方式番号 (A0 ~ A3) を入力します。

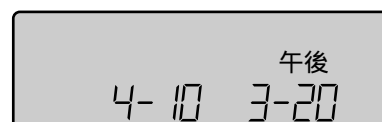
- ▶ 一番上のワンタッチボタンを押して「A」を入力し、ダイヤルボタンで「0 ~ 3」を入力します。
- ▶ データIDコード (お客様の電話番号) などの通報内容をどのような方式で伝えるかを選び (下表参照) 通報方式番号を入力してください。



通報方式	通報方式番号
データ通報: 通報内容をプッシュ信号で伝える	A0
音声通報: 通報内容を音声メッセージで伝える	A1
ポケットベル通報: 通報内容をポケットベルの画面に表示させる (通報先としてポケットベルを登録した場合の設定)	A2
データ通報 + 音声通報: 通報内容をプッシュ信号で伝えたあと、さらに音声メッセージで伝える	A3

5 通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、登録が終わります。



ワンポイント

通報先を続けて登録するには☞

手順4のあと、登録ボタンを押してから手順2 ~ 4を繰り返します。

登録を中止するには☞

ハンドセットを一度上げて戻します。

PBX内線や着信無料番号などを登録するときは☞

通報先としてPBX内線や着信無料番号など (回線転極がない場合) を登録するときは、電話番号の前に「P」(上から2番目のワンタッチボタンを押す) を入力します。

参考

通報先を登録するときは、通報先の方にあらかじめ了解を得てください。

STEP2：通報順序と通報回数の設定

通報順序と通報回数（1～9回）を設定します。通報先が応答するまで何度でも通報を繰り返すように設定することもできます。

また、通報先のいずれかが応答したら通報を終了する1宛先通報か、すべての通報先が応答するまで通報を行う全宛先通報のどちらかに設定することができます。

例：通報項目「**非常**通報」について、以下の内容を設定する場合

通報順序：登録番号「3」「1」「10」「12」の順

通報回数：1宛先通報で3回（いずれかの通報先が応答するまで、最大3回通報を繰り返す）

1 **通報停止** と **登録** をいっしょに押します。

「プー」という音が鳴ります。



2 通報項目番号（21～34）を入力します。



通報項目		通報項目番号
緊急通報	非常 通報（いずれかの端末の 非常 が押下された場合の緊急通報）	21
	リモートスイッチ通報	22
	ワイヤレス送信機通報	23
	センサ1 通報	24
	センサ2 通報	25
	センサ3 通報	26
	センサ4 通報	27
	電池切れ 通報	28
相談 通報（いずれかの端末の 相談 が押下された場合の通報）		29
定時通報1通報		30
定時通報2通報		31
停電／復電通報		32
外出／帰宅通報		33
テスト通報		34

3 通報したい順に通報先の登録番号を入力します。



登録番号（入力時の画面表示）	入力方法
01～09（1～9）	ダイヤルボタン 1 ～ 9 を押す
10（A）	上から1番目のワンタッチボタンを押す
11（b）	上から2番目のワンタッチボタンを押す
12（C）	上から3番目のワンタッチボタンを押す
13（d）	上から4番目のワンタッチボタンを押す
14（E）	上から5番目のワンタッチボタンを押す

方法 SL-6号電話機(オプション)で登録・設定をする

- 4 **再ダイヤル**を押して区切り「**□**」を入力したあとに通報回数(1~9または0:通報回数無限)を入力します。

▶ 全宛先通報を設定する場合は、通報回数を入力したあと、一番上のワンタッチボタンを押して「A」を入力します。

登録
P21 3 1A C W 3

- 5 **通報停止**を押します。
「プー」という音が鳴り、登録が終わります。

午後
4-10 3-20

ワンポイント

通報先を続けて登録するには☞
手順4のあと、登録ボタンを押してから手順2~4を繰り返します。
登録を中止するには☞
ハンドセットを一度上げて戻します。

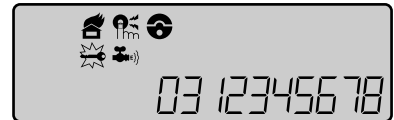
通報機能をテストする

SL-7号通報装置に通報先を登録したときは、テスト通報を行います。テスト通報は、事前に通報先と打ち合わせのうえ、行ってください。

1

通報停止 を押し続けながら、**非常** を押します。

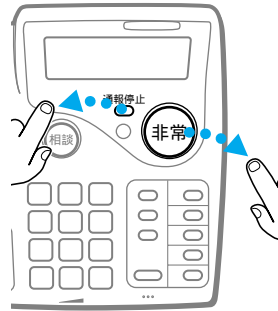
テスト通報を開始します。



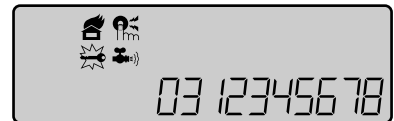
2

通報停止 と **非常** を離します。

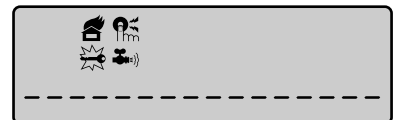
テスト通報が完了すると、通報先の電話番号が表示されます。通報が正常に行われなかったときは、「-----」が表示されます。



正常に終了したとき



正常に行われなかったとき



3

通報停止 を押します。

ディスプレイが時計表示に戻ります。



ワン
ポイント

ダイヤル種別を“自動”でご使用になるときは必ずテスト通報を実施してください。実施しないと、ダイヤル種別が設定されません。

方法 SL-7号通報装置で登録・設定をする

日時を設定する

1

通報停止 と **リセット** をいっしょに押します。

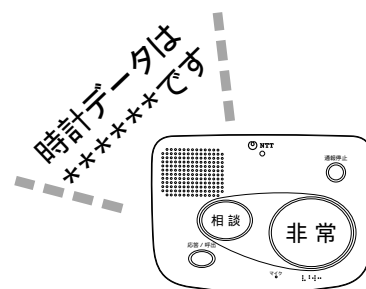
登録音が鳴り、電源ランプが点滅して、登録モードに切り替わります。

2

相談 を押します。

電源ランプ、**非常**、**相談** が点灯（弱）し、確認音のあと、「時計データは0001010000（初期状態の場合）です」という音声ガイダンスが聞こえます。

00 01 01 00 00
┆┆┆┆┆
年 月 日 時 分
(下2桁) (24時間制)



3

応答/呼出 を押します。

「1桁目は、0です」という音声ガイダンスが聞こえます。

4

応答/呼出 を押します。

「0（1桁目の設定値）」という音声ガイダンスが聞こえます。

▶ 設定値を修正する必要がない場合は、手順6に進みます。

5

非常（+1）または **相談**（-1）を押して設定値を変更します。

目的の設定値を示す音声ガイダンスが聞こえるまで繰り返し押します。

6

応答/呼出 を押します。

設定値を知らせる音声ガイダンスが聞こえます。

7

非常（+1）または **相談**（-1）を押して桁を移動します。

8

手順4～7を繰り返し、各桁の設定値を変更します。

9

通報停止 を押します。

設定値を知らせる音声ガイダンスが聞こえます。

10

通報停止 を押します。

登録音が鳴り、電源ランプが点灯して、登録が終わります。

ワン
ポイント

設定を中止するには☞

通報停止 を押します。

メッセージが流れている間は☞

ボタンの入力を受け付けません。メッセージが終わってから次の操作をしてください。

登録・設定操作の流れ

システムデータ番号や設定値については、「システムデータ設定一覧」(P86)を参照してください。

- 1 登録待機モードに切り替えます。**

待機状態で「通報停止」と「リセット」を同時に押します。
登録音が鳴り、電源ランプが点滅します。
- 2 マニュアル設定モードに切り替えます。**

「相談」を押します。
「相談」、「非常」の常夜灯が点灯し、確認音が鳴ります。続いて、音声ガイダンス「時計データは*****です」が聞こえます。
- 3 目的のシステムデータ番号(01~99)を選択します。**

「非常」を押します。
「P01」の設定値を知らせる音声ガイダンスが聞こえます。
続いて「非常」(+1)または「相談」(-1)を押して、目的のシステムデータ番号を選択します。
- 4 設定値を変更します。**
 - 「応答/呼出」を押します。
1桁目についての音声ガイダンスが聞こえます。
 - 「応答/呼出」を押します。続いて、「非常」(+1)または「相談」(-1)を押して、目的の設定値にします。
 - 「応答/呼出」を押します。
設定値が確定し、次の桁に移動します。P81~99については「非常」で桁が進み「相談」で桁が戻る、桁移動をします。
 - 手順2)~3)を繰り返し、全桁の設定が完了したら「通報停止」を押します。
設定値を知らせる音声ガイダンスが聞こえます。
 - 続けて他のシステムデータを登録・設定するときは、手順 から繰り返します。
- 5 通常動作(待機状態)に戻ります。**

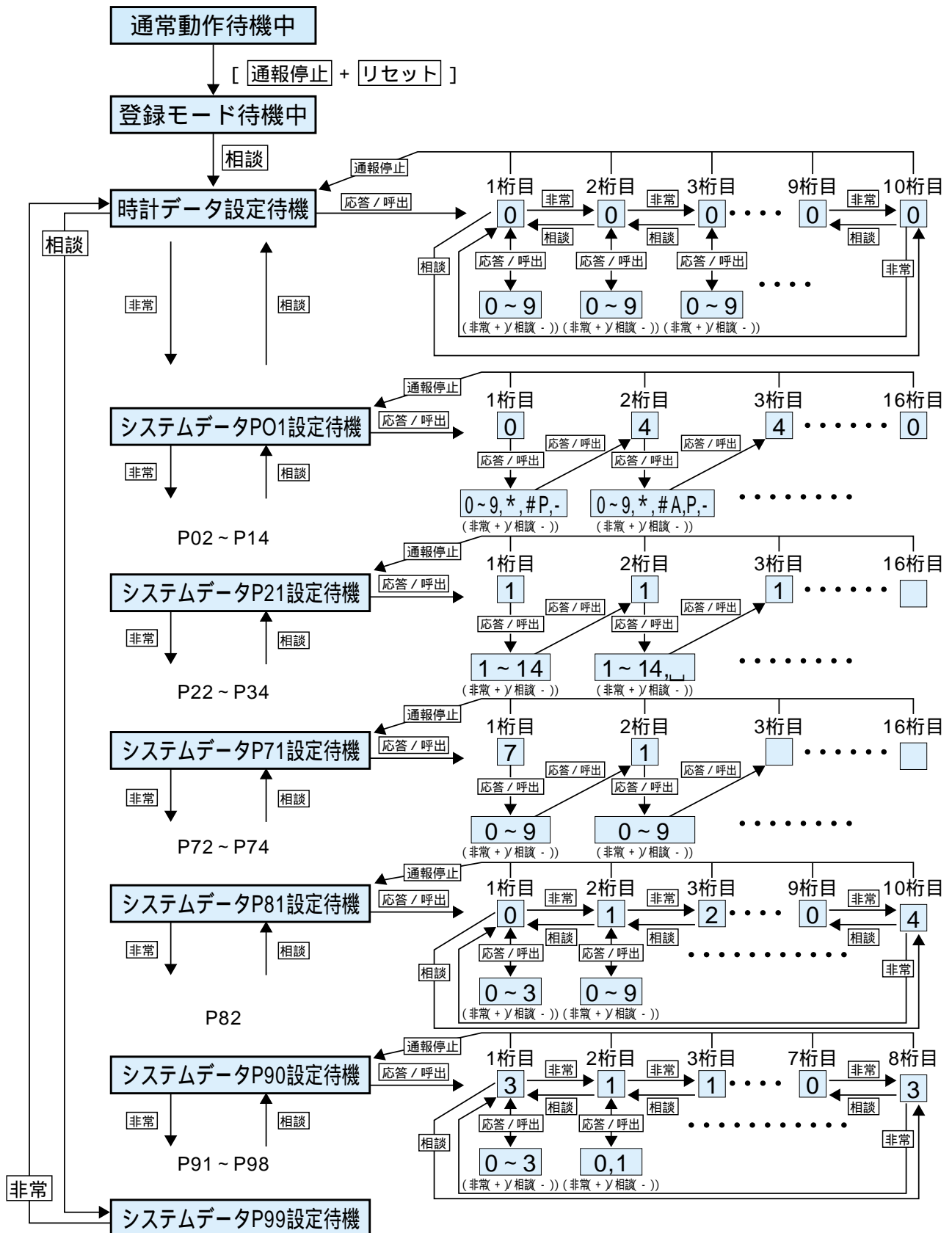
「通報停止」を押します。
登録音が鳴り、電源ランプが点灯して、登録が終わります。

参考

登録・設定は、SL-7号通報装置本体および接続しているすべての機器が待機状態であることを確認してから行ってください。
登録モードに切り替わったあと、約30秒以内に「相談」を押さないと、待機状態に戻ります。
登録設定中は、着信があっても鳴動しません。

方法 SL-7号通報装置で登録・設定をする

設定・操作の流れ



方法 SL-7号通報装置で登録・設定をする
設定と接続方法

ワンポイント

設定を中止するには☞

通報停止 を押します。

設定を確認するには☞

システムデータ番号ごとの設定値を音声ガイダンスで確認したら、**通報停止** を押します。音声ガイダンスのあとで**応答/呼出** を押すと、全桁初期値に戻ってしまいますのでご注意ください。

設定値を変更するには☞

非常 または **相談** を繰り返し押します。

非常 : 押下前の設定値 + 1

相談 : 押下前の設定値 - 1

設定値として使用できる記号は☞

通報先や通報のしかたの設定時には、**非常** または **相談** を押すごとに、以下の値のうちの設定可能な値がガイダンスされます。ガイダンスされる順序は、設定内容によって異なります。

値(記号)	音声ガイダンス	用途
0~9	「ゼロ」~「きゅう」	登録番号の数値、ダイヤル、通報回数の数値
*	「スター」	ダイヤル、登録番号の数値
#	「シャープ」	ダイヤル、登録番号の数値
A	「エー」	通報方式番号の数値、全宛先通報の設定
P	「ピー」	極反無し、PB切り替え、登録番号の数値
-	「ハイフン」	ダイヤル間区切り、登録番号の数値
—	「スペース」	3秒ポーズ、登録番号の数値、区切り

通報機能をテストする

SL-7号通報装置に通報先を登録したときは、テスト通報を行います。テスト通報は、事前に通報先と打ち合わせのうえ、行ってください。

1

通報停止 を押し続けながら **非常** を押します。

テスト通報が開始されます。

2

テスト通報を終了するときは、**通報停止** を押します。

ワンポイント

ダイヤル種別を“自動”でご使用になるときは☞

必ずテスト通報を実施してください。実施しないとダイヤル種別が設定されません。

システムデータ設定一覧

システムデータ番号 (初期値*1)	項目		設定内容	初期値	ユーザ設定 値*2
P01	通報先1	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P02	通報先2	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P03	通報先3	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P04	通報先4	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P05	通報先5	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P06	通報先6	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P07	通報先7	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P08	通報先8	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P09	通報先9	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P10	通報先10	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P11	通報先11	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P12	通報先12	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P13	通報先13	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する		
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		
P14 (117A1)	通報先14	通報先電話番号	通報先の電話番号(最大16桁)を登録する	117A1	
		通報方式	通報のしかたを通報方式番号(A0~A3)で登録する		

*1: 初期値は、システムデータ番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

システムデータ番号 (初期値*1)	項目		設定内容	初期値	ユーザ設定 値*2
P21 (12123_2)	非常通報	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」*3を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0:無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P22 (12123_2)	リモートスイッチ	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0:無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P23 (12123_2)	ワイヤレス リモートスイッチ	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0:無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P24 (12123_2)	センサ1	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0:無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P25 (12123_2)	センサ2	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0:無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P26 (12123_2)	センサ3	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0:無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P27 (12123_2)	センサ4	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0:無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		

*1: 初期値は、システムデータ番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

*3: SL-6号電話機で設定する場合は、**再ダイヤル**を押します。

システムデータ設定一覧

システムデータ番号 (初期値*1)	項目		設定内容	初期値	ユーザ設定 値*2
P28 (12123_2)	電池切れ	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0：無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P29 (12123_2)	相談通報	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0：無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P30 (12123_2)	定時通報1	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0：無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P31 (12123_2)	定時通報2	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0：無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P32 (12123_2)	停電/復電	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0：無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P33 (12123_2)	外出/帰宅	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	12123_2	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0：無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		
P34 (E_I)	テスト通報	通報順序	P01～14で登録した登録番号を通報順に並べ、そのあとに「スペース」を1つ入れる	E_I	
		通報回数	通報を行う回数(1～9、または0：無限)を設定する		
		通報終了タイミング	通報終了のタイミングを全宛先通報終了後とするときのみ、「A」を設定する		

*1：初期値は、システムデータ番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくくと便利です。

システムデータ番号 (初期値 ^{*1})	項目	設定内容	初期値	ユーザ設定 値 ^{*2}	
P71	データIDコード	データ通報時のデータIDコード(最大16桁)を登録する			
P72	音声IDコード	音声通報時のIDコード(最大16桁)を登録する 音声の「の()」はSL-7号通報装置では「スペース」で、SL-6号電話機では(再ダイヤル)で設定する			
P73、P74	ポケベルIDコード	ポケットベル通報時の表示データ(16桁まではシステムデータ番号73、17桁以上は74に登録)を登録する 3秒ポーズはSL-7号通報装置では「スペース」で、SL-6号電話機では(再ダイヤル)で設定する 「ピー(P)」は情報コード(3桁)となるSL-6号電話機では、上から2番目のワンタッチボタンで入力する			
P81 (0000000014)	定時通報1	通報日時	通報日時「 日 時 分」を設定する	000000	
		通報間隔単位	通報する間隔の単位を設定する 0:日単位で通報 1:時間単位で通報	0	
		通報間隔	通報間隔を数値(01~24)で設定する	01	
			必ず「4」に設定してください	4	4
P82 (0000000014)	定時通報2	通報日時	通報日時「 日 時 分」を設定する	000000	
		通報間隔単位	通報する間隔の単位を設定する 0:日単位で通報 1:時間単位で通報	0	
		通報間隔	通報間隔を数値(01~24)で設定する	01	
			必ず「4」に設定してください	4	4

*1: 初期値は、システムデータ番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

システムデータ設定一覧

システムデータ番号 (初期値*1)	項目	設定内容	初期値	ユーザ設定 値*2	
P90 (31111101)	ダイヤル種別 自動の設定の時は必ずテスト 通報(P81、85)を実施してく ださい。テスト通報を実施し ないと自動設定されません。	電話回線の種別を設定する 0: PB 1: 10 pps 2: 20 pps 3: 自動	3		
	着信拒否	SL-6号電話機	着信音を鳴らすかどうかを設定する	1	
		ハンドフリーボッ クス1	0: 鳴らさない 1: 鳴らす	1	
		ハンドフリーボッ クス2		1	
		ハンドフリーボッ クス3		1	
	SL-7号通報装 置本体	着信音を鳴らすかどうかを設定する 0: 鳴らさない 1: 鳴らす 2: 鳴らさない (通報停止 以外のボタン使用不可)	1		
	ナンバー・ディスプレイサ ービスの有無	0: 通常回線 1: ND回線	0		
電源ランプ 常夜灯(非常)、(相談)ボタン)	非常、相談、電源ランプの点灯を設定す る 0: 電源ランプ消灯、常夜灯消灯 1: 電源ランプ点灯、常夜灯消灯 2: 電源ランプ消灯、常夜灯点灯 3: 電源ランプ点灯、常夜灯点灯	1			
P91 (11903040)	着信自動応答	着信時に自動応答の可否を設定する 0: 応答不可 1: 応答可(応答メッセージ有) 2: 応答可(応答メッセージ無)	1		
	着信自動応答時のマイク	ハンドフリー通話時のマイクのオン/オフ を設定する 0: オフ 1: オン	1		
	着信自動応答遅延時間	着信から自動応答までの秒数(00~99) を設定する	90		
	着信自動応答のハンドフリー 通話時間	自動応答時のハンドフリー通話の分数 (1~9、または0:無限)を設定する	3		
	着信自動応答時および通報時 のハンドフリー通話の外付け 電話機への転送	外付け電話機への転送の可否を設定する 0: 転送無し 1: 転送有り	0		
	着信自動応答端末	自動応答時の応答端末を設定する 0: SL-6号電話機 1: SL-6号ハンドフリーボックス1 2: SL-6号ハンドフリーボックス2 3: SL-6号ハンドフリーボックス3 4: SL-7号通報装置	4		
	テレコン待ち時間	自動応答時のテレコン待ち時間を設定す る 0: 30秒 1: 1分 2: 3分	0		

*1: 初期値は、システムデータ番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくことと便利です。

システムデータ番号 (初期値*1)	項目	設定内容	初期値	ユーザ設定 値*2	
P92 (00000030)	警報音モード	緊急通報時に電話機から流れる警報音の種類を設定する 0: 警報音+メッセージ 1: 警報音のみ	0		
	警報音音色	緊急通報時に電話機から流れる警報音の音色を設定する 0: 警報音1 1: 警報音2	0		
	ワイヤレス受信機の伝達方式	0: 3出力モード 1: シリアルモード	0		
	定時通報1の条件設定	定時通報で通報間隔を設定している場合、どんなときに通報を行うかを設定する 0: 定期(毎回)通報 1: 異常時のみ通報	0		
	定時通報1の異常有無の判定方式	0: センサ入力なしのとき異常とみなす 1: センサ入力ありのとき異常とみなす	0		
	通報停止方法	定時、外出、帰宅、停電および復電通報の取り消し操作の方法を設定する 0: 通報停止 1: 通報停止 + #	0		
	データ通報方式	データ通報方式を設定する 0: SL3手順 SL3コード 1: SL3手順 SL5コード 2: SL5手順 SL3コード 3: SL5手順 SL5コード 4: SL5手順 SL7コード 必ず“0”に設定してください。	3	0	
P93 (00001100)	接点出力の動作モード	接点出力1	外部接点出力の動作モードを設定する 0: 通報起動～通報完了 1: 相手応答～通報完了 2: 電気錠 3: センサ1入力に連動 4: センサ2入力に連動 5: センサ3入力に連動 6: センサ4入力に連動	0	
		接点出力2		0	
	サブコールドアホン	サブコールドアホンの機能を設定する 0: 警報音なし 1: 警報音あり 2: スピーカ機能のみ	0		
	メッセージ繰り返し回数 (音声通報時)	音声通報のメッセージ回数を設定する 0: 3回 1: 10回 2: 20回	0		
	通報の有無	電池切れ通報	それぞれの場合に通報をするかどうかを設定する 0: 通報しない 1: 通報する	1	
		相談通報		1	
停電/復電通報		0			
外出/帰宅通報		0			

*1: 初期値は、システムデータ番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

システムデータ設定一覧

システムデータ番号 (初期値*1)	項目	設定内容	初期値	ユーザ設定 値*2	
P94 (0000 0033)	タイマ設定	非常通報遅延時間	非常通報の起動から緊急通報するまでの秒数(00~99秒)を設定する	00	
		センサ1通報遅延時間	センサ1が異常を感知してから緊急通報するまでの分数(0~9分)を設定する	0	
		センサ2通報遅延時間	センサ2が異常を感知してから緊急通報するまでの分数(0~9分)を設定する	0	
		センサ3通報遅延時間	センサ3が異常を感知してから緊急通報するまでの分数(0~9分)を設定する	0	
		センサ4通報遅延時間	センサ4が異常を感知してから緊急通報するまでの分数(0~9分)を設定する	0	
		停電通報遅延時間	停電してから緊急通報するまでの分数(0~9分)を設定する	3	
		通報時のハンドフリー通話時間	緊急通報時のハンドフリー通話時間を分数(1~9分)または無限(0)で設定する	3	
P95 (00000001)	センサ設定	センサ1検出	センサの接点入力方式を設定する 0:メーク 1:ブレーク	0	
		センサ2検出	2:給電型センサ(24V) 給電型センサを使用する場合は、本体内部の工事設定が必要です。	0	
		センサ3検出	センサの接点入力方式を設定する 0:メーク 1:ブレーク	0	
		センサ4検出		0	
		センサ1モード	センサの通報方式を設定する 0:センサ 1:定時通報1に連動 2:通報停止入力に使用する	0	
		センサ2モード		0	
		センサ3モード		0	
P96 (00012399)	音声フレーズ 設定	非常メッセージ	それぞれの通報時のメッセージを設定する	0:緊急通報	0
		リモートスイッチメッセージ	0:(右欄参照)	0:緊急通報リモート	0
		送信機メッセージ	1:火災発生 2:ガスもれ発生 3:盗難発生	0:緊急通報ペンダント	0
		センサ1メッセージ	4:異常発生1 5:異常発生2	0:センサ1異常	1
		センサ2メッセージ	6:異常発生3 7:異常発生4	0:センサ2異常	2
		センサ3メッセージ	8:メッセージなし (「こちらは~です」)	0:センサ3異常	3
		センサ4メッセージ	9:メッセージなし	0:センサ4異常	9
		相談メッセージ		0:相談があります	9

*1:初期値は、システムデータ番号ごとの初期状態での値です。

*2:設定した値を書き込んでおくことと便利です。

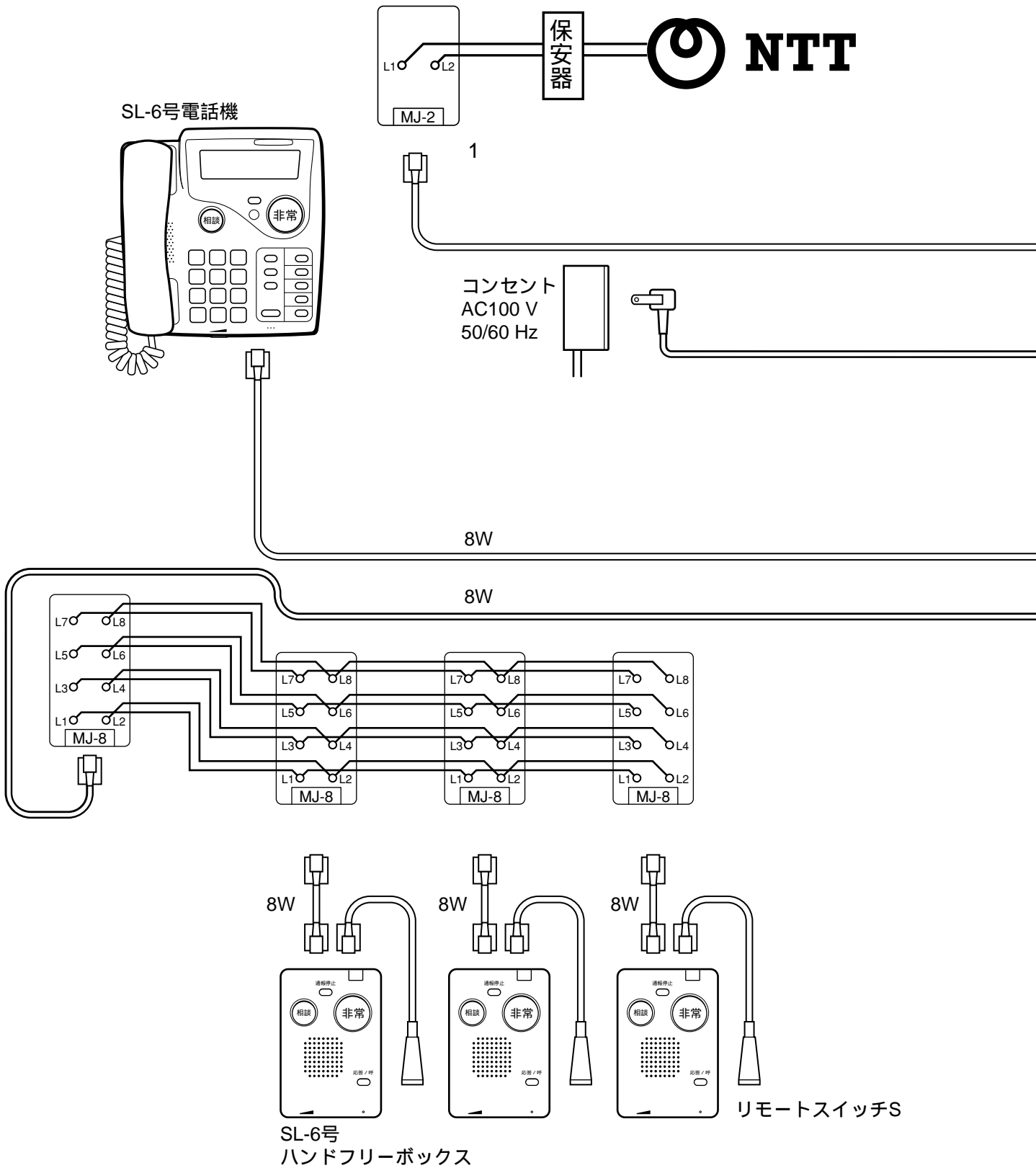
システムデータ番号 (初期値* ¹)	項目	設定内容	初期値	ユーザ設定 値* ²	
P97 (11111110)	警報音有無	非常、リモート スイッチ	それぞれの通報時に警報音を鳴らすかど うかを設定する 0：鳴らさない 1：鳴らす	1	
		送信機		1	
		センサ1		1	
		センサ2		1	
		センサ3		1	
		センサ4		1	
		電池切れ		1	
		相談		0	
P98 (11111110)	優先通報選 択	非常、リモート スイッチ	それぞれの通報を優先して行うかどうか を設定する 0：非優先 1：優先	1	
		送信機		1	
		センサ1		1	
		センサ2		1	
		センサ3		1	
		センサ4		1	
		電池切れ		1	
		相談		0	
P99 (11111110)	接点出力の 有無	非常、リモート スイッチ	それぞれの通報時に接点出力動作の有無 を設定する 0：なし 1：あり	1	
		送信機		1	
		センサ1		1	
		センサ2		1	
		センサ3		1	
		センサ4		1	
		電池切れ		1	
		相談		0	

*¹初期値は、システムデータ番号ごとの初期状態での値です。

*²設定した値を書き込んでおくと便利です。

配線のしかた

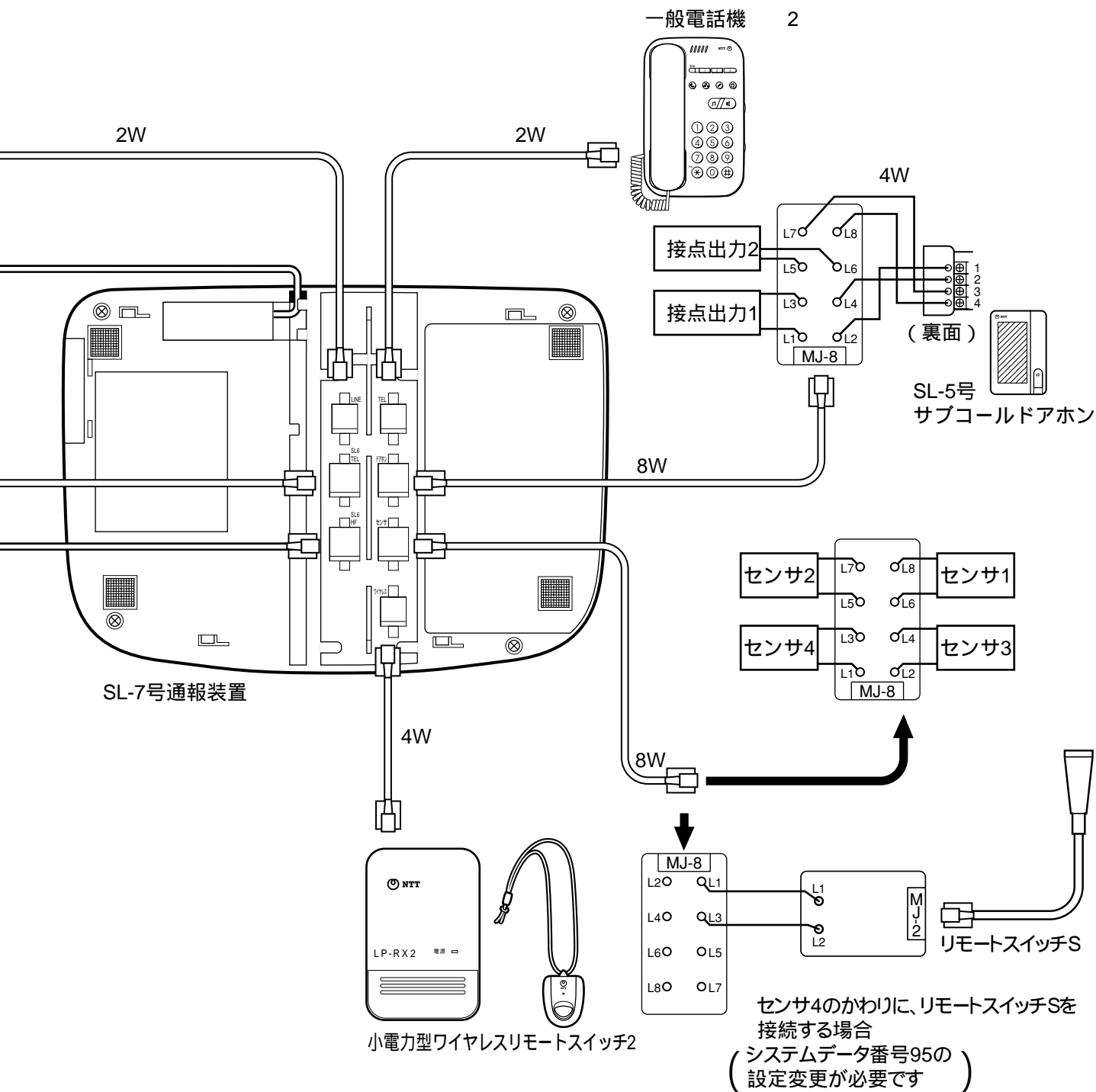
下の図を参照して、SL-7号通報装置と別売品などを接続（配線）してください。



配線のしかた
設定と接続方法



本商品は、一般電話回線または構内交換機の内線用です。デジタル回線に接続することはできません。また、緊急通報が正常に行われない場合がありますので、ターミナルアダプタ等のアナログポートや他の通信装置（FAX等）を経由して接続しないでください。



- 1 緊急通報が正常に行われなない場合がありますので、電話回線を他の通信装置（FAX等）を経由して本装置に接続しないでください。
- 2 ご使用になる機器によってはご使用になれない場合もあります。緊急通報による強制切断により、通話ができなくなる場合があります。

センサ4のかわりに、リモートスイッチSを接続する場合
（システムデータ番号95の
設定変更が必要です）

付録 索引

五十音

【あ行】

アラームを解除する (SL-6号電話機).....	67
アラームをセットする (SL-6号電話機).....	66
アラームを利用する (SL-6号電話機).....	60
SL-5号サブコールドアホン	32
SL-6号電話機	38
SL-6号ハンドフリーボックス	32
SL-7号通報装置本体	14
液晶ディスプレイ (SL-6号電話機) ...	48
遠隔操作 (テレコントロール).....	29
応答/呼出ボタン	15
お手持ちの電話機を 接続して利用するには	25
オプションのご紹介	32
オプションを接続して使うには	34

【か行】

カードケース (SL-6号電話機).....	45,57
カードケースおさえ (SL-6号電話機).....	45,57
各部の名前とはたらき	15
各部の名前とはたらき (SL-6号電話機).....	46
壁掛け金具	14,17
壁掛けにして使うには	17
壁掛け用ネジ	14,17
乾電池をセットする (停電用).....	18
キャッチボタン (SL-6号電話機).....	46,59
キャッチホンを受ける (SL-6号電話機).....	59
緊急通報するには	20
緊急通報するには (SL-6号電話機) ...	38
緊急通報するには (ハンドフリーボックス).....	35
緊急通報するには (ワイヤレスリモートスイッチ).....	34
緊急通報優先機能	28
警報音量ポリウム	15
高音域スイッチ (SL-6号電話機).....	47,50
声や呼び出し音を調節するには	22

声や呼び出し音を調節するには (SL-6号電話機).....	50
故障かな?と思ったら	72

【さ行】

再ダイヤル (SL-6号電話機).....	55
再ダイヤルボタン (SL-6号電話機) ...	46
サブコールドアホン	41
システムデータ設定一覧	86
仕様	98
小電力型ワイヤレス リモートスイッチ2	32
信号呼び出しでかける (内線電話を かける・SL-6号電話機).....	58
受信機 (ワイヤレスリモートスイッチ).....	34
受話音量つまみ (SL-6号電話機).....	47,50
受話口 (SL-6号電話機).....	46
スピーカ	15
スピーカ (SL-6号電話機).....	46
スピーカ音量つまみ	15
スピーカ音量つまみ (SL-6号電話機).....	47,50
スピーカ呼び出しでかける (内線電話 をかける・SL-6号電話機).....	58
接続している電話機などを 呼び出すには	24
設定スイッチ (SL-6号電話機) ...	47,75
設定方法	74
セットを確認してください	14
セットの確認 (SL-6号電話機).....	45
センサ (各種センサ).....	42
送信機 (ワイヤレスリモートスイッチ).....	34
相談電話をかけるには	21
相談電話をかけるには (SL-6号電話機).....	39
相談電話をかけるには (ハンドフリーボックス).....	36
相談ボタン	15
相談ボタン (SL-6号電話機).....	46
送話口 (SL-6号電話機).....	46

【た行】

短縮番号カード (SL-6号電話機).....	45,57
短縮番号で電話をかけるには (SL-6号電話機).....	57

短縮番号を登録する (SL-6号電話機).....	62
短縮ボタン (SL-6号電話機).....	46
着信音量スイッチ	15
着信音量スイッチ (SL-6号電話機).....	47,50
着信自動応答機能	28
着信ランプ (SL-6号電話機).....	46
チルトレグ (SL-6号電話機).....	47
通報機能をテストする	85
通報機能をテストする (SL-6号電話機)	81
通報停止ボタン	15
通報停止ボタン (SL-6号電話機).....	46
定時通報機能を利用する	30
停電が終わったとき	71
停電中は	70
停電になったときのために	18
停電になったときは	70
テレコントロール機能	29
電源ランプ	15
電源ランプ (SL-6号電話機).....	46
電池カバー	16,18
電池切れ通報機能	28
電話機コード	14
電話機コード (SL-6号電話機).....	45
電話番号プレート (SL-6号電話機) ...	46
電話番号を確認してかける (SL-6号電話機)	52
電話を受けるには (SL-6号電話機) ...	51
電話をかけ直すには (再ダイヤル・SL-6号電話機)	55
電話をかけるには (SL-6号電話機) ...	51
登録・設定操作の流れ	83
登録・設定操作の流れ (SL-6号電話機)	76
登録・設定をする	82
登録・設定をする (SL-6号電話機) ...	75
登録ボタン (SL-6号電話機).....	46
特長	12
トラブル	72
【な行】	
内線電話をかけるには (SL-6号電話機)	58
内線番号を登録する (SL-6号電話機)	64
日時を合わせるには (SL-6号電話機)	49

日時を設定する	82
---------------	----

【は行】

配線のしかた	94
ハンドセット (SL-6号電話機).....	46
ハンドセットを置いたまま 電話を受ける (SL-6号電話機).....	54
ハンドセットを置いたまま 電話をかける (SL-6号電話機).....	53
ハンドフリーボタン (SL-6号電話機)	46
ハンドフリーボックス	35
非常ボタン	15
非常ボタン (SL-6号電話機).....	46
フックスイッチ (SL-6号電話機).....	46
プッシュ信号を送る (SL-6号電話機)	60
保守サービスのご案内	99

【ま行】

マイク	15
マイク (SL-6号電話機).....	46

【や行】

呼び出し音が鳴ったときに 電話に出る (SL-6号電話機).....	51
呼び出し音が鳴ったときは	23
より便利に使う (SL-6号電話機).....	59

【ら行】

リセットスイッチ	15
リモートスイッチS	32,36

【わ行】

ワイヤレスリモートスイッチ	34
ワンタッチボタン (SL-6号電話機).....	46,56
ワンタッチボタンで電話を かけるには (SL-6号電話機).....	56
ワンタッチボタンに電話番号を 登録する (SL-6号電話機).....	61
ワンタッチボタンプレート (SL-6号電話機).....	46,56

付録 仕様

仕様

使用回線	一般電話回線または構内交換機の内線
ダイヤル方式	DP (10 PPS/20 PPS) または、PB
異常入力	非常、センサ類4入力、ワイヤレス受信機入力
通報宛先	13グループ、14宛先
通報方式	音声合成方式、PB信号方式、PB信号+音声合成方式
電源	AC100 V ± 10 V 50/60 Hz 予備電源：アルカリ単3乾電池 (8本)
消費電力	最大約12 W
寸法・質量	幅約210 mm × 奥行き約152 mm × 高さ約52 mm 約0.9 Kg (電池を含む)
動作温度、湿度	0 ~ 40 、 20 ~ 90 %以下 (結露しないこと)

保守サービスのご案内

保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	・毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	・修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用、および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますので、ご了承ください。） ・当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。
NTT通信機器お取扱相談センター：トークセンター ☎0120 - 109217
電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。



この取扱説明書は、
エコマーク認定の
再生紙を使用して
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： 0120 - 109217

トークニーナ

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2000 NTTEAST・NTTWEST



本2080-1(2000.4)
SL-7ツウハウソウチ トリセツ